

福商会報

FUKUSYO OB COMMUNICATION MAGAZINE

発行所/社団法人 福商会 発行責任者/前田 福一 福岡市中央区大名1-12-57

TEL: 092-711-9890 FAX: 092-711-9266

Eメール: info@fukushokai.or.jp

<http://www.fukushokai.or.jp>

熱・意気・力

Vol.143

(2005年 9月 発行)

第55回 福商会全国合同同窓大会



「熱・意気・力」福商パワーに乾杯!





第55回 全国合同同窓大会開催

800人が集い親睦を深める

第55回全国合同同窓大会が6月12日、ホテルニューオータニ博多において800名を超える同窓生が集い盛大に開催されました。本大会の当番幹事を務める80回生の山田忠義大会実行委員長から「熱意、力の福商魂をもって大会を盛り上げます」との力強い開会の挨拶があり、続いて山口理事長から「今年は定款改正を行い、福商会の更なる発展に向け、代議員総会の開催、常任理事会の新設など、組織の充実を図りました。また、母校への支援も育英奨学金の給付など積極的にすすめ、地元経済を担うリーダーの養成、福岡市はアジアの玄関口でもあることから、アジアに通ずる人材に育つよう願いたい」とこれからの福商会の運営、母校への期待について挨拶がありました。

来賓の福岡市教育委員会植木とみ子教育長からは「福商会は明治37年に発足し、歴史と伝統を築かれ、地元経済界はもとより国内外で活躍されている同窓生の皆様に敬意を表します」とともに、福岡市への支援に厚くお礼申し上げます。母校が更にステップアップされることを福商会と一緒に築いていきたい」との挨拶がありました。

福翔高校の段裕明校長からは「進路状況として就職は100%。進学については大学進学に248名、短大、専門学校に105名が合格しました。4年生大学の合格を増加させるなどを基本方針として、教育課程の抜本的な見直しを進

めたい」との挨拶がありました。

続いてこの1年間に亡くなられた方104名に対し黙祷を捧げました。この後、前田福一専務理事から16年度の会務報告を行い、恒例の喜寿(43回生)28名、また今年から始めた米寿(32回生)6名の方々にたいし、お祝いとして記念品を贈呈しました。

更に、元福岡商業高校教頭の藤井正訓先生が西日本スポーツ賞体育功労賞、福翔高校第18代校長の帆足知己先生が瑞宝小綬章、山口理事長が黄綬褒章をそれぞれ受章され、お祝い金を贈りました。

また、奨学資金にと多額のご寄付をいただいた52回生を代表して宮田信氏と故山内正樹先生のお嬢様の鈴木曠子さんにそれぞれ感謝状を贈りました。

懇親会では、今年から全員が着席しての会食となり、昔の思い出話に花が咲き、盛會裡に同窓大会を終えました。

CONTENTS

| | |
|------------|----|
| 全国合同同窓大会開催 | 2 |
| 決算報告 | 4 |
| 理事会報告 | 6 |
| ピックアップ | 7 |
| 記念対談 | 8 |
| 学園から | 10 |
| 同窓会報告 | 12 |
| 恩師シリーズ | 14 |
| OBトピックス | 15 |
| 同舟往来 | 16 |
| 青春プレイバック | 17 |
| 笑いの健康法 | 18 |
| 福商100年史 | 19 |
| 会費納入者一覧 | 20 |
| 企業紹介 | 22 |
| 広告 | 23 |

式典

■来賓の方々



■当番幹事の皆さん(80回生)

第五回福商会全国合同同窓大会
式典次第

- 一 開会の辞 大会幹事長 藤崎孝利
- 一 君が代斉唱
- 一 実行委員長挨拶 大会幹事長 山田忠哉
- 一 来賓紹介
- 一 大会会長挨拶 福岡会幹事長 山口毅
- 一 来賓祝辞 福岡会幹事長 植木とみ子 福岡会幹事長 段 裕明 福岡会幹事長 前田福一
- 一 物故者慰霊 黙祷
- 一 会務報告 福岡会幹事長 前田福一
- 一 米寿・喜寿祝い記念品贈呈
- 一 感謝状贈呈 大会幹事長 光安忠幸
- 一 閉会の辞

■52回生へ
感謝状贈呈



■山口理事長の挨拶



■新入会員(103回生)紹介

第55回 福商会全国合同同窓大会



■喜寿祝いのお礼を述べる中牟田先輩(43回生)



■植木福岡市教育長の挨拶



■後藤相談役の乾杯

懇親会



■Happy House Jazz Bandによる演奏

第五回福商会全国合同同窓大会
懇親会次第

- 一 開会の辞 大会幹事長 北川純嗣
- 一 乾杯
- 一 引継式 福岡会幹事長 藤崎孝利
- 一 校歌斉唱
- 一 博多祝い唄
- 一 博多手一本
- 一 閉会の辞

■博多手一本



■応援団OBによる応援歌、校歌



■米寿の緒方先輩による
ハーモニカ演奏



■当番幹事引き継ぎ(80回生から81回生へ)

通常総会 開催 53年振りに定款改正



山口理事長の挨拶

5月28日、福岡市博多区の八仙閣において通常総会が開催されました。今総会から代議員による総会になり、代議員総

数172人の内143人(内31人委任状出席、欠席29名)が出席しました。山口毅理事長から「今回から代議員による総会が初めて開かれます。全国合同同窓大会とは別に、総会を行い、会員皆様の意見を聞き、新しい福商会を築いていきたい」との挨拶がありました。続いて議長に山口理事長、議事録署名人に前田常喜氏(46回生)、南原茂氏(71回生)を選出し、前田福一専務理事より4議案について説明が行われ、全会一致で承認されました。また、福翔高校の段裕明校長にもご出席いただき、母校の現状についてご挨拶をいただきました。



段校長の挨拶

第一号議案 定款改正について

昭和27年に定款制定以来、変更されてな

く時代の変化に合った定款に改正しました。

●主な変更点

- 1、代議員制による総会の実施……各卒業回生から3名以内を登録する。従って、評議員制は廃止。
 - 2、総会定数の明確化……代議員200名以内。
 - 3、理事総数の変更……70名以内。(現行40名)
 - 4、常任理事、推薦理事の設置……日常の執行業務において、スピードある遂行を行う上から常任理事会を設置します。
 - 5、代議員、理事、監事の任期変更……3年。(現行2年)
 - 6、理事会開催の議決……過半数の出席でもって成立。(現行3分の2以上)
- *定款につきましてはホームページに「定款」欄を設けておりますので詳細ご覧いただけます。

第二号議案

平成16年度事業報告ならびに収支決算報告について

- 各種委員会の実施回数
- ・理事会5回・三役会13回
 - ・定款委員会6回・広報委員会15回・母校との3者懇談会5回・親睦委員会8回
 - ・母校体育部・文化部振興委員会1回ほか各支部会、同窓会への出席、福岡市教育委員会への訪問等をおこないました。
- 平成16年度はアナント収入の増加により、

収支が改善され正味財産として6,096千円の増加になりました。

第三号議案

理事、監事改選について

本年が理事、監事の改選期に当たり、別紙の理事、監事が選任されました。(8・9頁に記載)

また、当日開催した理事会において理事長、副理事長、専務理事および常任理事が選任されました。

第四号議案

平成17年度事業計画案ならびに収支予算案について

剣道部が今年創部100周年を迎え、記念事業費として100万円の特別支出が承認されました。



代議員の皆様

平成16年度決算報告書

収支計算書 ●平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

収入の部

単位:千円

| 科目 | 予算 | 合計 | 一般会計 | 奨学事業会計 |
|-----------|--------|---------|---------|--------|
| 事業収入 | 58,284 | 57,478 | 57,478 | 0 |
| 会費収入 | 5,200 | 4,968 | 4,968 | 0 |
| 寄付金収入 | 1,800 | 2,520 | 0 | 2,520 |
| 雑収入 | 0 | 27 | 19 | 8 |
| その他収入 | 0 | 39,302 | 39,302 | 0 |
| 繰入金収入 | 2,000 | 400 | 0 | 400 |
| 当期収入合計(A) | 67,284 | 104,695 | 101,767 | 2,928 |
| 前期繰越収支差額 | 9,643 | 9,643 | 8,394 | 1,249 |
| 収入合計(B) | 76,927 | 114,337 | 110,161 | 4,176 |

支出の部

単位:千円

| 科目 | 予算 | 合計 | 一般会計 | 奨学事業会計 |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|
| 事業費 | 35,840 | 36,651 | 33,349 | 3,302 |
| 管理費 | 16,590 | 19,213 | 19,207 | 6 |
| 固定資産取得支出 | 2,000 | 3,842 | 3,842 | 0 |
| 有価証券購入支出 | 0 | 4 | 1 | 3 |
| その他支出 | 0 | 1,349 | 1,349 | 0 |
| 特定預金支出 | 0 | 30,216 | 30,216 | 0 |
| 繰入金支出 | 2,000 | 0 | 0 | 0 |
| 当期支出合計(C) | 56,430 | 91,276 | 87,965 | 3,311 |
| 当期収支差額(A)-(C) | 10,854 | 13,419 | 13,802 | -383 |
| 次期繰越収支差額(B)-(C) | 20,497 | 23,062 | 22,197 | 865 |

貸借対照表 ●平成17年3月31日現在

| 資産の部 | | 単位:千円 | | |
|-----------|---------|---------|--------|--|
| 科 目 | 合 計 | 一般会計 | 奨学事業会計 | |
| 流動資産 | 26,127 | 25,261 | 866 | |
| 現金預金 | 23,619 | 22,756 | 863 | |
| 定期預金 | 3 | 0 | 3 | |
| 貯蔵品 | 2,296 | 2,296 | 0 | |
| 立替金 | 209 | 209 | 0 | |
| 固定資産 | 196,357 | 158,146 | 38,211 | |
| (基本財産) | 51,422 | 21,422 | 30,000 | |
| 土地 | 18,822 | 18,822 | 0 | |
| 有価証券 | 11,100 | 2,600 | 8,500 | |
| 定期預金 | 21,500 | 0 | 21,500 | |
| (その他固定資産) | 144,936 | 136,724 | 8,212 | |
| 建物 | 96,361 | 96,361 | 0 | |
| 付属設備 | 7,043 | 7,043 | 0 | |
| 什器備品 | 1,023 | 1,023 | 0 | |
| 電話加入権 | 60 | 60 | 0 | |
| 有価証券 | 10,233 | 2,021 | 8,212 | |
| 預り敷金引当預金 | 30,216 | 30,216 | 0 | |
| 資産合計 | 222,484 | 183,406 | 39,078 | |

| 負債の部 | | 単位:千円 | | |
|--------|--------|--------|--------|--|
| 科 目 | 合 計 | 一般会計 | 奨学事業会計 | |
| 流動負債 | 14,244 | 14,244 | 0 | |
| 未払金 | 560 | 560 | 0 | |
| 前受金 | 12,228 | 12,228 | 0 | |
| 預り金 | 129 | 129 | 0 | |
| 未払消費税等 | 1,257 | 1,257 | 0 | |
| 未払法人税等 | 70 | 70 | 0 | |
| 固定負債 | 48,041 | 48,041 | 0 | |
| 預り敷金 | 48,041 | 48,041 | 0 | |
| 負債合計 | 62,285 | 62,285 | 0 | |

| 正味財産の部 | | 単位:千円 | | |
|---------------|---------|---------|--------|--|
| 科 目 | 合 計 | 一般会計 | 奨学事業会計 | |
| 正味財産 | 160,199 | 121,121 | 39,078 | |
| (うち基本財産) | 51,422 | 21,422 | 30,000 | |
| (うち当期正味財産増減額) | 6,097 | 6,477 | -380 | |
| 負債及び正味財産合計 | 222,484 | 183,406 | 39,078 | |

正味財産増減計算書 ●平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

| 単位:千円 | | | |
|-----------|---------|---------|--------|
| 科 目 | 合 計 | 一般会計 | 奨学事業会計 |
| I 増加原因の部 | | | |
| 1. 事業収入 | 57,478 | 57,478 | 0 |
| 2. 会費収入 | 4,968 | 4,968 | 0 |
| 3. 寄付金収入 | 2,520 | 0 | 2,520 |
| 4. 雑収入 | 27 | 19 | 8 |
| 5. 繰入金収入 | 400 | 0 | 400 |
| 合 計 | 65,393 | 62,465 | 2,928 |
| II 減少原因の部 | | | |
| 1. 事業費 | 36,651 | 33,349 | 3,302 |
| 2. 管理費 | 19,213 | 19,207 | 6 |
| 3. 減価償却額 | 3,432 | 3,432 | 0 |
| 合 計 | 59,296 | 55,988 | 3,308 |
| 当期正味財産増減額 | 6,097 | 6,477 | -380 |
| 前期繰越正味財産額 | 154,103 | 114,645 | 39,458 |
| 期末正味財産合計額 | 160,199 | 121,121 | 39,078 |

| 平成16年度監査報告 | |
|------------|---|
| 監 事 | 松本宗次郎(45) 清水龍治(63) |
| 監査期日 | 平成17年4月27日(金)午後3時 |
| 監査場所 | 福岡市中央区大名老丁目拾貳番五拾七号 福商会館において |
| 監査対象 | 現金出納帳 元帳 普通預金通帳 (残高証明書付) 定額預金証書及び有価証券 領収書 |
| 監査結果 | 上記監査対象を精査した結果、 整然と整理が行われており、 収支とも誤りがなく正確で あることを証明致します。 |
| 幹事 | 松本宗次郎 印 |
| 同 | 清水龍治 印 |

平成17年度収支予算 ●平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

| 単位:千円 | | | |
|-----------|--------|--------|--------|
| 科 目 | 合 計 | 一般会計 | 奨学事業会計 |
| 事業収入 | 59,310 | 59,310 | 0 |
| 会費収入 | 8,330 | 8,330 | 0 |
| 寄付金収入 | 1,000 | 0 | 1,000 |
| 特定預金取崩収入 | 4,000 | 0 | 4,000 |
| 当期収入合計(A) | 72,640 | 67,640 | 5,000 |
| 前期繰越収支差額 | 23,062 | 22,196 | 866 |
| 収入合計(B) | 95,702 | 89,836 | 5,866 |

| 単位:千円 | | | |
|-----------------|--------|--------|--------|
| 科 目 | 合 計 | 一般会計 | 奨学事業会計 |
| 事業費 | 37,970 | 34,470 | 3,500 |
| 管理費 | 19,140 | 19,140 | 0 |
| 固定資産取得支出 | 2,000 | 2,000 | 0 |
| 特定預金支出 | 6,000 | 6,000 | 0 |
| 当期支出合計(C) | 65,110 | 61,610 | 3,500 |
| 当期収支差額(A)-(C) | 7,530 | 6,030 | 1,500 |
| 次期繰越収支差額(B)-(C) | 30,592 | 28,226 | 2,366 |

※各表すべて千円未満は四捨五入しています。

理事会報告

平成17年度第一回理事会開催！

推薦理事8名、相談役1名を承認

新年度に入り第一回の理事会が5月11日、福商会館で開催されました。出席者32名、委任状出席者4名、欠席者4名（理事総数40名でした。またオブザーバーとして、田中範隆氏（39回生）、今井英喜氏（56回生）、猪野忠孝氏（67回生）、松尾忠昭氏（60回生）にも出席していただきました。山口毅理事長の挨拶に続き、議長に山口理事長を指名し、議事録署名人には田中寛氏（40回生）、平野俊一氏（46回生）の両理事を指名し4議案について審議を行いました。

第一号議案 平成16年度事業報告および収支決算報告について

前田福専務理事より一年間の事業運営取り組みについて報告を行った後、収支決算の詳細説明を行い、理事全員の承認を得ました。

第二号議案 平成17年度事業計画案および収支予算案について

前田専務理事から事業計画案と収支予算案について説明を行い理事全員の承認を得ました。

尚、平成16年度から年会費の30%還元を行っていますが、支払基準として

①会計年度毎に10人以上の会費を納めている各卒業回生

②原則として理事選出の卒業回生（支払先は理事）

平成16年度分還元明細は左下表の通りです。

第三号議案 貸付信託他解約に伴う資産運用について

現行、貸付信託などへ資産運用している固定資産について、基本財産の明確化を図るために、一旦解約し、より安全性の高い証券や他の資産運用を図ることについて提案を行い、理事全員の承認を得ました。

第四号議案 理事・監事改選および新相談役承認について

前回の理事会において、新三役及び推薦理事、常任理事の選出については、選考委員会の中で候補者を選出する事が了承されており、前田常喜選考委員長から報告がありました。

推薦理事・新相談役について諮ったところ、全員一致で承認されました。

推薦理事候補者

葉山政志（43回生）、後藤幹生（55回生）、

秋丸武士（58回生）、吉松昭幸（58回生）、池田健二（59回生）、石川浩一朗（60回生）、高木不二男（60回生）、寺崎裕幸（67回生）。

相談役

後藤豊彦（45回生）

また、新二役および常任理事は候補者を選出し、総会の議決を受け、新理事による理事会で互選されることを確認しました。副理事長1名については、三役会、選考委員会、常任理事会の中で、今後検討していく旨確認しました。

報告事項

(一) 会館補修工事について

福岡西方沖地震による被害から補修工事費用が発生し、発生費用の報告を行いました。

地震関係補修費用……………9399千円

各階段照明器具取替え費用…3255千円

3、4階給水管取替え費用…2883千円

一階駐輪防止フェンス取替費…88千円

(二) 平成16年度年会費納入状況について
平成16年度は2、595名が年会費を納められ、前年に比べ426人の会費増加になりました。

平成16年度分 年会費30%還元額一覧表

| 回 生 | 16年度会費納入者数 | 30%還元額 | 回 生 | 16年度会費納入者数 | 30%還元額 |
|-------|------------|--------|--------|------------|-----------|
| 21~30 | 37 | | 70 | 90 | 54,000 |
| 31 | 19 | 11,400 | 71 | 13 | 7,800 |
| 32 | 19 | 11,400 | 72 | 9 | |
| 33 | 18 | 10,800 | 73 | 11 | 6,600 |
| 34 | 13 | 7,800 | 74 | 11 | 6,600 |
| 35 | 50 | 30,000 | 75 | 13 | 7,800 |
| 36 | 19 | 11,400 | 76 | 7 | |
| 37 | 31 | 18,600 | 77 | 13 | 7,800 |
| 38 | 34 | 20,400 | 78 | 7 | |
| 39 | 47 | 28,200 | 79 | 25 | 15,000 |
| 40 | 51 | 30,600 | 80 | 24 | 14,400 |
| 41 | 46 | 27,600 | 81 | 10 | 6,000 |
| 42 | 44 | 26,400 | 82 | 16 | 9,600 |
| 43 | 43 | 25,800 | 83 | 3 | |
| 44~45 | 80 | 48,000 | 84 | 7 | |
| 46~47 | 66 | 39,600 | 85 | 10 | |
| 48 | 37 | 22,200 | 86 | 10 | 6,000 |
| 49 | 22 | 13,200 | 87 | 7 | |
| 50 | 76 | 45,600 | 88 | 8 | |
| 51 | 75 | 45,000 | 89 | 6 | |
| 52 | 90 | 54,000 | 90 | 9 | |
| 53 | 60 | 36,000 | 91 | 3 | |
| 54 | 74 | 44,400 | 92 | 1 | |
| 55 | 91 | 54,600 | 93 | 4 | |
| 56 | 74 | 44,400 | 94 | 3 | |
| 57 | 68 | 40,800 | 95 | 5 | |
| 58 | 83 | 49,800 | 96 | 4 | |
| 59 | 98 | 58,800 | 97 | 4 | |
| 60 | 64 | 38,400 | 98 | 1 | |
| 61 | 51 | 30,600 | 99 | 5 | |
| 62 | 61 | 36,600 | 100 | 1 | |
| 63 | 80 | 48,000 | 101 | 4 | |
| 64 | 37 | 22,200 | 102 | 312 | |
| 65 | 28 | 16,800 | 併中1 | 0 | 0 |
| 66 | 29 | 17,400 | 別1~別15 | 13 | |
| 67 | 39 | 23,400 | 定1~定43 | 14 | 8,400 |
| 68 | 31 | 18,600 | | | |
| 69 | 27 | 16,200 | 合計 | 2,595 | 1,275,000 |

※85回生、別1～別15は学年代表不明の為未還元

PICK UP

平成17年度第一回三者懇談会開く 学校変革に向け意見交換

平成17年度第一回の三者懇談会が6月30日、福翔高校において開催されました。昨年の秋から引き続き開かれているもので、学校からは段裕明校長他5人、保護者代表として稲田毅PTA会長他3人、福商会からは山口毅理事長他7人、計18人が出席しました。

1 進路保障のための 教育課程編成について

前号の142号(5月)にも掲載していますように、今年の4月から一年次に特別進学2クラス(80人)の編成、また保護者からの要望の強かった補習の実施を始めています。3ヶ月を経過するなか、生徒間での意識の変化、中学校からは「福翔高校の姿勢が見えてきた」など期待も高まっております。来年度から本格的なカリキュラムの見直しなど、新たな変革に向け第一歩を踏み出しています。

2 部活動強化のための 具体的方策について

コーチングスタッフの充実をはかるべきとの意見が出されており、学校からも「OBで」コーチを引き受けてくれる人がいれば、是非お願いしたい」との要望もあり、福商会としても、体育部OBと監督、顧問の先生方との話し合いの場を持ち、母校の活躍のためバックアップしていきたいと考えています。



第87回夏の甲子園県予選大会に向け 「福翔野球部激励会」を開く

7月2日、福岡市中央区の天神テララにおいて「福翔野球部激励会」が開かれました。会場には谷川教頭、中山監督ほか野球部の生徒諸君、父母の会、野球部OB、又福商会からも山口理事長、前田専務理事らが参加しました。第87回夏の甲子園大会予選が7月9日から始まり「県大会出場」「甲子園出場」目指して、日々厳しい練習に励んでいます。キャプテンの生田君から「絶対に諦めない粘りの野球で1勝を目指します」と力強い言葉もあり、会場は盛り上がりつつありました。

なお、夏の甲子園大会予選は3回戦まで勝ち進みましたが「県大会出場」まであと一歩で惜しくも敗れました。

栄えある受章者

春の褒章・叙勲の受賞者が福商会員からお二人が選ばれました。長年のご功績に敬意を表し、心からお祝いとお慶びを申し上げます。

黄綬褒章

山口 毅氏(52回生)
社団法人 福商会理事長

瑞宝小綬章

帆足 知己氏
元福岡商業高等学校 第18代校長

母校の新任先生 との懇談会開く

これからもういう機会を増やし、相互理解を深め、母校の発展のために活動を行ってきたいと思えます。



7月4日、福岡市中央区天神テララにおいて、福翔高等学校の段裕明校長他平成16、17年度に着任された9人の先生方と福商会からは山口毅理事長他7人の学校関係担当理事らが出席し懇談会を開きました。

新しい先生に福商会をより知っていただくとの思いから開かれたものです。前田専務理事から福商会の現状について説明の後、各先生からの自己紹介、意見交換を行いました。最後に全員で校歌を歌い懇談会を終えました。





アジアに通じる 人材育成を期待

社団法人 福商会理事長
山口 毅氏

福商会同窓会 記念対談



自立自存の強さを 持たせる教育を

福岡市教育委員会教育長
植木とみ子氏

● 福岡の発展とともに106年の歴史を刻む福翔高校 ●

五年前、福岡商業高校から改称した福岡市立福翔高校が創立一〇六年を迎える。同窓生として出光興産の創業者・出光佐三(2回生)や、飯野海運社長で海運業界のリーダーでもあった俣野健輔(14回生)ら日本の経済界を代表する先輩たちを輩出し、現在も多くの卒業生が福岡経済界で活躍する福翔高校。六月十二日(日)、同校の同窓会組織「社団法人福商会」恒例の同窓会を開催するのを前に、福岡市教育委員会・植木とみ子教育長と福商会・山口毅理事長に、同校発展のための課題、同窓会活動への期待などについて、率直に語り合っていた。

「福博商人」輩出の伝統校

山口 福翔高校は福博商人を輩出してきた伝統校です。私が在籍していた時代も、学校で商売のイロハを学び、卒業後は家業を継ぐ人がほとんどでした。地域とともに歴史を刻み、福岡経済の発展を支えてきたといっても過言ではないと思いますが、植木教育長は福翔高校をどんなふうに見られていますか。

植木 福岡経済をリードする多くの企業家を生み、卒業生の皆さんの活躍が福岡市の発展に大きく貢献していると感謝しています。

山口 植木教育長はよく学校現場を見に行かれるそうですね。

植木 はい。よく行きます。実際に訪問す

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----------|----|----|-----------|----|----|----|-----------|----|----------|----|----|-----|---------|
| 柴田 | 照正 | 明(42回生) | 中宮 | 島田 | 清(52回生) | 松尾 | 忠昭 | 善生 | 喜利 | 秋吉 | 紀生 | 浦石 | 塚井 | 健太 | 二(89回生) |
| 中牟 | 正廣 | 生(43回生) | 野田 | 野田 | 信(52回生) | 尾藤 | 誠博 | 吉上 | 康一 | 立出 | 泰樹 | 手嶋 | 井嶋 | 雅健 | 太(90回生) |
| 村上 | 廣栄 | 清(45回生) | 阿本 | 阿本 | 章一(53回生) | 平内 | 信博 | 安武 | 幸彦 | 尾出 | 淳一(80回生) | 寺中 | 中嶋 | 健太郎 | (91回生) |
| 安川 | 藤清 | 一(45回生) | 山本 | 山本 | 作次郎(54回生) | 高吉 | 廣忠 | 岩原 | ひとみ(70回生) | 小岩 | 真海 | 田嶋 | 嶋中 | 一郎 | (92回生) |
| 古藤 | 島清 | 馬(46回生) | 梅大 | 梅大 | 敏子(55回生) | 伊藤 | 忠照 | 野田 | 富士子(71回生) | 原藤 | 大(81回生) | 寺嶋 | 嶋中 | 誠一郎 | (93回生) |
| 小島 | 藤照 | 功(47回生) | 石山 | 石山 | 子(56回生) | 篠畑 | 忠照 | 小江 | 重雄(71回生) | 藤橋 | 雪(81回生) | 依築 | 嶋中 | 裕人 | (94回生) |
| 西津 | 嶋田 | 達(47回生) | 山今 | 山今 | 久雄(57回生) | 松原 | 昭男 | 宮庭 | 晴子(72回生) | 松深 | 治(82回生) | 八中 | 尋山 | 誠子 | (94回生) |
| 津原 | 浦田 | エ子(48回生) | 清豊 | 清豊 | 彦英(57回生) | 岸木 | 昭男 | 賀中 | 玄二郎(73回生) | 井上 | 昭一(83回生) | 比田 | 勝城 | 弘守 | (98回生) |
| 内佐 | 木明 | 子(49回生) | 森山 | 森山 | 和子(定2回生) | 青折 | 進徳 | 野中 | 正和(74回生) | 神智 | 香一(83回生) | 原口 | 勝城 | 義弘 | (99回生) |
| 江波 | 木利 | 一(50回生) | 山口 | 山口 | 樹勝(58回生) | 小川 | 司子 | 岡大 | 恵子(77回生) | 村山 | 明(88回生) | 寒竹 | 本本 | 健太 | (101回生) |
| 津梅 | 津中 | 義(51回生) | 山八 | 山八 | 忍子(59回生) | 折小 | 博俊 | 大倉 | 秋子(77回生) | 上浦 | 明(88回生) | 神堂 | 藤本 | 正彦 | (102回生) |
| 田堀 | 中弘 | 子(別5回生) | 藤井 | 藤井 | 美智子(60回生) | 奥山 | 辰男 | 藤原 | 勝守志(78回生) | 藤上 | 久(89回生) | 伊野 | 上野 | 正彦 | (103回生) |
| | | | | | | | | | 悦子(78回生) | | | | | 咲紀 | (103回生) |

これからの福翔高校(その二)

教務主任 江口 武俊

前号の福商会報第

142号で、総合学科

高校へ改編されてからの

五年間の総括と他校の様子、

そしてこれからの福翔高校を取り組んでいく改革について紹介させていただきました。

そこで、今回はその後本校で新たに改革を計画している入学試験制度についてお知らせしたいと思います。

一、これまでの入学試験

本校の入学試験には二つの方法があります。まず一つは一般入学試験で、従来からおこなわれているものです。これは、皆さんご存じとおもいますが、二月に県下で一斉に実施される、統一問題による学力試験です。

もう一つは、他校でも実施されていますが、推薦入学試験です。本校の場合、推薦入学試験では二つの分野に分けて実施しています。一つは、「教科活動」の分野です。これはいわゆる学力の高い生徒を対象としていて、調査書を参考としながら、作文と面接を実施して選考していくものです。

二つめは、「自己表現」という分野で、なかなかユニークなものです。ここでは、面接以外に、受験者に自分の得意としているものを実際に発表してもらい、その技量や努力の跡等をみて判断するものです。その内容には、部活動に関するものももちろんで

すが、和太鼓、三味線、日本舞踊などの日本の伝統芸能をはじめとして、けん玉、沖縄空手、ジャズダンスなどユニークなものまでありました。この自己表現により、本校では部活動が活性化されてきているだけでなく、部活動以外の活動でも大きな活躍を見せる生徒が増えて、本校に活気を与えてくれています。

二、推薦入試で見えてきたこと

以上のようなこれまでの推薦入試で、募集定員320人の中で、約三割、96名程度の生徒を合格としました。しかし、不合格としなければならなかった生徒たちの中には、部活動やその他の活動でよく頑張っているうえに、勉強でもかなり頑張っている生徒がいるのが気になり始めました。そういう部活動も学習にも長けた生徒で、本校入学を熱望しているなら、そういう生徒こそが本校の活性化に寄与できるのではないかとこのことなのです。それでは、どうしたらよいものかと検討を重ねた結果、いっそ、推薦入試の枠をもっと少し広げてみてはということになりました。募集定員の四割を推薦入試で選抜するというのは、県下の公立高等学校の中で、もっとも多い学校の一つになるのではないかと思います。

三、これからの福翔高校(その二)

前号142号で、本校では平成18年度入学生に対して、次の三つの構想をもって改

革していく考えを提示しました。

①生徒の進路実現に必要な基礎基本を充実させるため、自由選択科目を削減し、コース制に近づけた教育課程を編成していく。

②進学特別クラスを設けて、特に国立大受験に対応できる学力を身につけさせる。

③就職希望生徒に対して、一年次より商業科目を学習させる。

そこで、今回は次の一項目の構想を加えて、これからの福翔改革の第一弾を完成させたいと考えています。

④推薦入試の募集人員を一割増加して四割(128人)程度とする。

最後に、以上の四項目の改革で、制度的な改革一段落ということになると思いますが、しかし次には、一番大切な授業については改善を加えていこうと計画しています。各授業の生徒用シラバス(講座案内)の活用や、生徒による授業評価の実施、教師相互による授業研究等の実施です。これらを推進していくことにより、福翔高校の授業がさらに活性化されていくものと考えています。本校の先生方は、今でも皆さんよく頑張っているのですが、さらに工夫を加えながら、もっと効果的な授業を創造してくれるものと思います。また、機会がございましたら紹介させていただきます。

体育祭・文化祭のOSV

体育祭・文化祭は生徒たちにとって最も楽しみな学校行事の一つです。

文化祭は各クラスが知恵を出し合い、さまざまな催しを考え出します。今年是一年の各クラスが合唱コンクールの形で競い合いましたが、他は例年同様、バザー中心になりました。以前は母校の大先輩出光佐三氏の生涯にスポットを当てたものや、水俣病を取材したものなど力作もありましたが、近年はどうも時間をかけた努力型クラス展示が少なくなり、一方、各部活動の展示や発表は日頃の活動の成果がよくあらわれており、どれも立派なものでした。ただ、福翔だけの傾向ではありませんが、高校全体が文化部の活動が低調傾向にあり、それを反映して文化祭を今後、意義あるものにするには一つには日頃の文化部の活動の発展にかかっていますし、クラス発表についてはどれだけ担任がかかわるかにかかっているように思います。

一方体育祭は、F・C・Sの3ブロックに分かれ、ブロック長を中心として応援合戦やシンボルの作成あるいはリレーで競い合います。今年は朝から雨模様で大変心配しましたが生徒たちの熱気で雨雲を吹き飛ばし、絶好のコンディションで実施することができました。体育祭はその時期にするかはそれぞれの学校で頭を痛めていますがいずれにしろ生徒にとっては最大の学校行事であり、学校としても教育効果の高いものと認めていますので、生徒も生徒会やブロック責任者を中心として、例年の模倣にならないよう、さらに知恵を絞って立派なものに仕上げてもらいたいと思っております。

●●● 新任の先生からの一言 ●●●



下佐古 崇司 先生(地歴科)

福岡女子高校から4月に転勤して参りました。担当教科は日本史です。3年生担当です。転勤当初は、前任校との違いにとまどいましたが(前任校では3年生は教室が3階、本校では3年生は1階。3階に授業に行ったことが何回かありました)、少しずつ慣れてきました。よろしくをお願いします。



木下かおり 先生(養護)

この春、福岡女子高校から赴任してきました。福翔は、学校行事や部活動がとても盛んで、活気に満ち溢れています。その中で生徒たちが、昔ながらの伝統を引き継ぎ、主体的に活動する姿には感激の連続でした。これからも、イキイキとした学校生活が送れるように、福翔生を支援していきたいと思ひます。



八田 智弘 先生(英語)

はじめまして。この4月より赴任することになりました。福翔にくるまで東京で15年間過ごしました。その間、大学を卒業し、ボランティア活動をし、サラリーマンをやっていました。この伝統ある福翔高校で生徒が生き生きと学校生活を送れるように、微力ながら、自分の力を出したいと思ひます。宜しくをお願いします。



佐々木 恭司 先生(保健体育)

はじめまして。昨年は常勤講師としてお世話になり、今年からは新規採用教員として勤めさせていただきます。自分の母校である福翔高校において、私の教員人生が始められることを誇りに思うとともに感激しております。私自身も生徒とともに成長し、「熱・意気・力」で一生懸命頑張っていく決意であります。



藤田 雅史 先生(学校事務)

はじめまして、今年度の異動により福岡市博物館より参りました。今までいくつかの施設で仕事をしてきましたが、高校は初めてで、広く複雑な環境に悪戦苦闘しております。ようやく慣れ始めたばかりですが、生徒が有意義な学校生活を送ることができるように、一生懸命努めてまいりたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。



森 任一 先生(数学)

昭和45年(1970年)4月1日、大学卒業後すぐに福商に赴任しました。3月のバレー部の合宿から福商の一員として生徒と共に生活したことが思い出されます。その合宿中に「よど号」ハイジャック事件(日本で初めての事件)に遭遇し驚いたこともよく覚えています。以来32年、福翔にお世話になり途中3年間女子校にいきましたが、縁あって今年再び福翔に戻りました。残り3年間精一杯頑張ります。



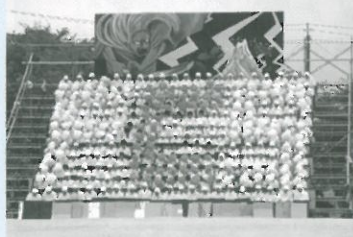
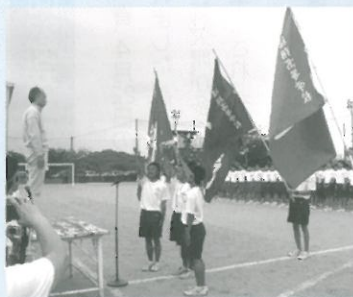
丹 和雄 先生(技術吏員)

宮竹中学から異動してきました学校用務員の丹です。小中学校での勤務ばかりでしたので、市立学校のシステム・職務内容の違いに戸惑いながら仕事をこなしてきたような気がしますが、ようやく福翔高校の雰囲気にもなれてきました。よりよい学校環境づくりに取り組んでいきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。



三上 真 先生(技術吏員)

こんにちは、4月に小田部小学校から来ました学校用務員の三上真といいます。福翔で3校目なのですが、今まで、2校とも小学校だったので、敷地の広さ、高校独特の体制に驚いています。しかし、その分、仕事の量と内容が大きく広くなると思ひますが、生徒が楽しく、安全な学校生活を送れるように、がんばっていきたく思ひます。よろしくお願ひします。



体育部・文化部の主な成績

体育部 (平成17年4月～7月)

陸上競技部

【国体選考会】

戸出 彩子 七種第6位

九州選手権大会出場

【全国大会予選】

田中 由貴 走高跳7位

中島 松尾愛 田中 枇杷木

谷 美枝 走高跳4位

北九州大会出場決定

田口 明美 400mハードル4位

戸出 彩子 七種第4位

田中 松尾愛 田中 枇杷木

4x100mリレー8位

【北九州大会】

谷 美枝 走高跳6位

全国大会出場決定

水泳部

【福岡県大会】

一ノ宮花菜 400m自由5位

高木 香織 200m個人MD7位

谷口美雅子 100mバタ6位

石濱 藍 100m平7位

下大迫 高木 内山 谷口

400m自由リレー6位

女子総合 6位

【九州 全国大会】

谷口美雅子 50m自由2位

全国大会出場

下大迫 石濱 高木 谷口

400mMDリレー6位

全国大会出場

バスケットボール部

男子 / 九州大会予選準優勝、

全国大会予選ベスト8

九州大会3位

1回戦 福岡76-70 美来工科

2回戦 福岡67-57 佐賀北

準決勝 福岡44-93 延岡学園

女子 / 全国選抜大会予選3回戦

九州大会県予選3位

全国大会県予選3位

サッカー部

全国大会県予選ベスト16

卓球部(女子)

全国大会県予選6位県大会に出場

野球部

全国大会県南地区予選

1回戦 福岡1-0 黒木

2回戦 福岡7-2 水産

3回戦 福岡8-9 春日

文化部 (平成17年4月～7月)

書道部

【全国大会出場】

林 麻希

美術部

【県大会美術・工芸部門】

柳田かおり 優秀賞

放送部

小林樹未子 アナウンス部門準決勝敗退

加古 大地 朗読部門準決勝敗退

山本 摩耶 朗読部門準決勝敗退

コンピュータ部

結城真奈美 経済産業省 情報処理技術者

システムアドミニストレーター 試験合格

同窓会報告

40回生同窓会

今年の40回同窓会は、春、4月22日の昼、藤崎「すし幸」で開かれました。出席者は20名でした。この処、病欠欠席が多くなり残念です。一日も早く平癒され、元気なお顔を見せて下さい。

小林幹事さんの開宴挨拶の後、福商会の改善著しい現況を報告し、40回代議員に大戸君、小林君を選出しました。美味しい料理と旨い酒に宴は盛り上がり、お互い健康に恵まれて、傘寿の齢を迎えられたことを感謝し、祝い合いました。

幹事の小林さん、魚住さん、写真の藤野さんお世話になりました。本当にご苦労様でした。

(田中 寛 記)

太宰府支部会開催

4月2日(土)太宰府天満宮横の「すし栄」に19人が集い、春の懇親会を開催しました。

吉住敬造(42回生)新支部長の熱のこもった挨拶のあと、本部から前田専務理事の出席を頂き福商会の現況の説明を受けました。田代成美(35回生)さんの乾杯で和やかな一日を過ごしました。猪口真郎(37回生)さんの中締、蔵本隆(44回生)さんの大締後、天満宮境内で記念写真撮影をし、秋の再会を約して別れました。

(角倉健司 記)



東京支部同窓会

6月11日、東京駅ルビーホールにおいて90名余の関東在住同窓生が参集、加えて翌12日が福岡本部の全国合同同窓大会にもかかわらず山口毅理事長、松尾嘉助副理事長のご臨席を賜り、盛会に実施された。

当番幹事63回生の合屋さんの司会で、



先ずは16年度の物語者の方々への黙祷より開始され、平井哲三郎支部長の挨拶、会務の報告があり出席者の拍手をもって承認されました。次に山口理事長より今後の福岡会、福岡高校の発展を期しての決意が述べられました。

続いて、趣味の会の報告では支部長杯ゴルフ会も回を重ね益々盛んになってきている様子です。又、支部事務局では東京福岡県人会と組み、歩こう会、カラオケ会、囲碁の会等への参加を呼びかけている事が報告されました。

会もいよいよ懇親会となり、昨年に引き続き、美人姉妹のフラダンスショーになり、いやが上にも盛り上がりました。

今年も本部より支部支援金が理事長より支部長へ贈呈され、出席者一同感謝し、有効に利用する事を誓いました。

会の終わりは、平井支部長の指揮により校歌、応援歌、凱旋歌の大合唱、32回生の横田尚正先輩の音頭で、福岡高校、福岡会本部及び東京支部の発展を願い万歳三唱で本年度の会を閉じました。

(片山 紀雄 記)

71回生同窓会開催

4年前から毎年同窓会を開くことになりました。今年も6組・西島クラスが世話役で、3月26日(土)、天神テラに53名が集まりました。遠く大阪からも参加があり盛会でした。丁度50才になり、これから人生の後半が始まる年です。

42回生同窓会

私達、42回生は毎年5月第二土曜日に同窓会を行う事にしており、昨年は喜寿祝の同窓会を行いました。

平成17年の今年は従来の趣向を変え中華料理ではなく、中央区清川の料亭「三光園」に於いて5月14日(土)に行いました。

福岡会より松尾副理事長、前田専務理事、川瀧事務長の三名に御来席頂き、42回生も遠く田中(奈良)、中川(別府)、佐々木(日田)等、諸兄の参加がありました。今年も終戦60年の節目の年であり、戦中、戦後と波乱の青春時代を送ったためか懐旧談に花が咲き、久しぶりの日本料理に舌鼓をうち会場は盛り上がりました。因みに今年も二十五名の参加がありました。当番幹事の伊藤、井上(勝)両君の熱心な取組に感謝しております。御苦労様でした。来年も元気で多くの級友が参加する事を期待しております。

(42回生 渡邊健一郎 記)

蔵本先生(44回生)の喜寿祝

蔵本隆先生の喜寿の祝いを4月29日に津屋崎町の割烹旅館「弥太楼」で開催しました。

遠来組も含め出席者は19名。ほとんどが泊まりであったことから、気分はゆっくりしていました。

紫のチャンチャンの先生を囲み、座が乱れぬ内の記念撮影。祝の言葉、引き続き先生の喜寿を迎えた感想と進み、新鮮な魚料理に舌鼓を打ちながら、これからは参加者一人一人のお祝いの言葉や現況の発表会となりました。すぐに昔に戻ってしまう幸せを全員が感じた日でした。宴席から見る絶景の夕日と料理に感激し、おおいに酒も飲み、盛り上がりました。

蔵本先生、これからお元気で人生を楽しんでください。

(59回生6組 香山 靖 記)



福商卓球部の思い出

元 福岡商業高校教諭 加藤 正俊



昭和35年度 全九州大会団体優勝 右から二人目が加藤先生

20年前福商に38年間在職し、その間卓球部顧問をつとめ定年となり退職しました。その時の私の念願でありました福商卓球部のあゆみであります。我が青春のスマッシュが発刊されたことなどが昨日のように思われます。

ここで過去を振り返ってみますと、男子はインターハイ名古屋大会6位、東京大会11位、鹿児島大会3位、広島大会出場。また、全九州団体準優勝の相原選手がシングルス優勝。女子ではインターハイに4回出場し、佐世保では全九州大会団体優勝を果たしました。団体で福岡県2回の準優勝では、岡山大会に角倉、相原選手、福井大会に市村、里永の選手

達がメンバーとして活躍しました。インターハイ全九州大会出場17回をかぞえ、昭和49年には福岡市青少年友好訪中団の一員に男女一名と私が男子卓球部監督として上海、天津、北京での親善試合に出場しました。国交回復間もない中国と友好親善の一翼を担うことができ、私にとつて最良の卓球部顧問の日々でありました。

先般福岡市卓球協会の総会があり、私が議長をつとめました。OBの方が多数役員として市卓ばかりか県卓でも活躍され、福岡県市の卓球界発展に大きく寄与されており、誠に心強いものがあります。また現在も多くのOBの方々が選手として、また指導者として県市等の大会で活躍されています。近年では全日本社会人大会で平松君(66回生)が男子フオーティ2回連続優勝と見事な活躍をされました。女子OBでは福山さん(50回生)が名古屋で、江川さん(59回生)が、千葉でママさん卓球の草分けとして活躍されておりです。そのほかにも子育てがある程度終わり、ママさん卓球で福岡ばかりでなく各地で汗を流しておられる方々と、いろいろな大会でお逢いすることがあり、ほんとううれしくたのもしく感じています。

最後になりましたが卓球部諸先輩方がつねに後輩のため物心両面においてご援助とご指導頂きますことを感謝申し上げます。

珠算部の思い出

結城 清友(76回生)

福商を卒業して30年近くになりますが、高校時代のクラブ活動は一番の思い出となっています。それは珠算部です。

私は小、中学校の時から珠算塾に通い、高校は商業高校に行き、珠算部に入部することが夢でした。福商高校への合格が決まった時はさすがに嬉しかったです。

夢が実現し、珠算部に入部しましたが、40〜50名の部員の中で、男子部員は先輩2名と私と谷川君の4名しかいないのは驚きました。部活は毎日早朝と放課後に部室で算盤を弾くばかりでした。時々、先輩方が指導に来られ、その成果もあり、1年生で能力検定一級に合格した喜びは今でも忘れません。毎日が厳しい練習ばかりではなく、クラブ対抗バレーボール大会、キャンプ、登山、合宿、文化祭などの学校行事も楽しい

思い出です。

それこそ珠算部なのか登山部なのか分からないくらい山登りをしました。宝満山、若杉山、久住では湧蓋山、一目山など山頂まで登ったこと、恒例の合宿では篠栗の明石寺で、朝から夜中まで13時間算盤を弾いたことなど、良い思い出として残っています。

ただ、在校中一番残念だったことは、3年のとき顧問の松本先生が亡くなられたことです。先生は39歳と若く、いろいろと指導していただきました。全国大会出場の際には、旅費を先輩のOBにカンプしてもらつたようにとアドバイスされ、各先輩を訪ねてお願いしたものです。このことがきっかけで珠心会(珠算部OB会：平成11年改組)にもすぐに溶け込み、幹事として活動しています。

今年も第43回珠心会を開催します。多くの先輩、後輩の皆様に参加してくださいませよう、ご協力のほど宜しくお願い致します。



松本龍治先生、帆足孝先生 (昭和48年)

第43回 珠心会 (珠算部OB会) 開催のご案内

日時
平成17年11月5日(土)
17:00から

場所

『湧水千石の郷』

福岡市早良区石釜333-2
TEL (092) 872-4141

*詳細は各回担当より連絡します。

問い合わせ先

OB会会長 善生喜利(69回生)



市内の音楽祭への参加、福祉ボランティア活動等、広く音楽活動を展開する男声アカペラ合唱団「高津メンネルコール」。その4代目団長に4月1日付で就任した。現在は7月に開催される川崎合唱まつりに向け、練習を重ねる日々。「団をまとめ、男声本来のアカペラを追求したい」と団長としての意気込みを語る。

男性合唱を始めたのは終戦直後、戦地や動員先から学窓に復帰してクラブ活動ができるようになってからのこと。当時は男女共学ではなかったため男声合唱で無伴奏だった。指揮には著名な音楽家、故石丸寛氏を迎え「合唱の楽しさを教えて下さった方」と今でも師と仰ぐ。卒業と同時にNHKに入社。在職中は60年の間合唱から離れていたが、退職を機に友人に勧められ、喜んで同合唱団に入団した。これがかきつけてモーツァルト出身の地サ

“和、が生みだすハーモニー 伊賀 良雄さん(42回生)

ルツブルグの合唱団団長等が来宅し、文化交流をしたことも。8年前の事だが、今でも毎年クリスマスカードが贈られてくる。「団のおかげで貴重な体験ができました」と笑顔を見せた。

趣味はウォーキング。毎日欠かさず2時間は歩くとか。歩きながらすることは音符の暗記。「曲を自分のものにしなければ歌えません」と終始柔和だった表情が引き締まった。着物の着付けの師範である律子夫人も歌の経験があり、理解が深い。「妻の協力があるからこそ、団長としての仕事ができます」と常に感謝を忘れない。

合唱の楽しさは人と人との結びつきだという。生まれも職業もバラバラの人間が一つの音で結びつくことに素晴らしさがある。「和がなければ、いくら音階が正確でも、感動を与えない素晴らしい響きにはなりません」と熱く語る。「我々は和を尊び、心を一つにして音楽を楽しむ集まり。一人でも多くの参加をして頂き、共に文化の向上、福祉活動に貢献したい」。そう話す眼差しは、実現へと導く力強さを感じさせた。

伊賀 良雄(いが・よしお)
昭和19年福岡商業学校卒業。昭和22年3月西南経済専門学校卒業。同年4月日本放送協会入社。昭和42年6月予算部長に就任。昭和56年6月監事事務局長に就任。平成4年3月NHK関連団体役員退任。NHK会友。

2005.4.15 川崎タウンニュースより転載

強くやわやかに生きていたい だから私はライフセーバー

荒井 真由美(84回生)

遊泳客で賑わう海水浴場。黄色いTシャツ・赤い短パンと帽子にサンングラス姿…一体何者?と思われそうだが、それが私達ライフセーバーのユニフォームである。遊泳客の安全に気を配り事故を未然に防ぐ、異変に気が付いたらレスキューにあたる。傷病者の手当や、時には迷子のお世話も。綺麗な海を守り、皆が気持ちよく過ごせるためにビーチクリーンも行う。

私はボランティアの福岡ライフセービングクラブで活動に参加し始めて9年目になる。メンバーである消防士の指導のもと、心肺蘇生法等の応急手当技術も身につけた。そして今、私達は福岡をライフセービングが盛んなオーストラリアの様な街にしたい!と志摩町を中心に地元の方々の協力を頂きながら、応急手当や自己防衛手段等の普及活動も行っている。

スイムレースやイベントのガードに出陣の際、陣を組む。ふと、楽しかった福商バトン部時代、本番前のステージ脇で陣を組んだ思い出が蘇る。

「熱意、力」の言葉が今でも私の中に息づいている。



■ライフセービングとは
主にフルビーチ(河川での監視や救助活動を行う)が、CPR(心肺蘇生法)等の応急手当技術は街中でも活用できる。文字通り「命を守る」活動。ボランティアで活動する人をライフセーバー(職業として従事する人をライフガードと呼び、オーストラリアでは公務員職にあたり、子供達の憧れの職業でもある)。

プロフィール
荒井真由美(旧姓 白垣)
職業 DTPデザイナー
資格 応急手当普及員
オーストラリア・ロイヤルライフセービング
プロフェッショナル
小型船舶操縦免許2級(限定付き)

同舟往来

昭和40年代に「同舟片々録」として同窓生の動向を伝えていた欄が「同舟往来」にタイトルを代えて再登場しました。

正木計太郎 君(62回生)



メンズ・ショップ・マルシヨウ十二店の社長として、また福岡県中小企業団体中央会(千二百組合、三十二万会員)

の会長、同会全国副会長、全国商店街振興組合連合会の副理事長等、古希を迎えています。山笠でも土居流総務を五期勤め、福岡ドームで山笠シリーズの始球式を行ったこともあり。暇な時はゴルフが楽しみようです。

吉住 正隆 君(58回生)



「ぶく葉(よ)う工房」を主宰し、葉画講師として活躍中。今年、福岡市美術展に初めて応募、奨励賞を受賞。

福岡ソフトバンクホークスの大ファン、ホークスの誕生を祝って、王監督に葉画「鷹(ホークス)が翔ぶ」を贈呈。ヤフードームの「ファミリークラブ」に飾ってあります。

また、日本有数の男の祭り「博多山笠」の七つの流れや、男衆の勇壮な姿の魅力に惹かれ、野山で収集した葉っぱで「ホークス」&「山笠」をシリーズで描き続けるのが夢のよつです。



寺崎(桑野)陽子 さん(60回生)



二科会の会友として20年。これまで第68回二科展特選、第18回文化庁現代美術選抜展出品、谷尾美術館大賞

奨励賞等、多数の賞を受けています。「絵の原点は福岡美術部で、部員同士の厳しい議論のもと自由奔放に絵を模索していた頃にあります」とのこと。

ソウルとモスクワに6年間滞在し、視野を広げ、昨年は二科会のニューヨーク選抜巡回展にも出品。今秋11月8日〜13日まで「ギャラリーおいし」で個展の予定だそうです。みんなで芸術を鑑賞しましょう。

林田統一郎 君(70回生)



在学中は柔道部の主将。今はシャンソンのすばらしさに魅了され、三年前から小倉教室のレッスンに通うようになり

ました。少しずつ小さなステージで歌ったり老人ホームの慰問に行ったりして、勉強し、昨年、菅尾玲子福岡ライブで一歳の誕生日前に父の転勤でイタリアに行ってしまう可愛らしい孫のキヤに捧げるじーじの切ない想いを歌った、「しあわせのキヤ」という曲を歌いました。

今年日本アマチュアシャンソンコンテストの九州大会で入賞し、6月の全国大会でも歌います。シャンソンの楽しさを知り、ま

たいろんな曲目を歌えるように勉強し、感動を与えられるようなシャンソン歌手をめざして頑張っています。

南原 茂 君(71回生)



高校・大学(青山学院大学)と陸上選手としてインターハイやインカレに出場し、又、全国で正月に注目を集める箱

根駅伝にも二度出場した事のある君が26歳の時、骨の病気で右足離断と言うなんともせつない経験を乗り越えて、現在は福岡の人の役に立ちたいと市議として活躍している。同級生の紀久子夫人は「すし古径」を運営。また長女は福岡高校、三年生で頑張っている。

木庭(村岡)しげ美 さん(73回生)



参議院議員、木庭健太郎夫人として公私に多忙な日々をおくっています。福岡卒業後、七

年間証券会社に務め、西日本新聞社の記者であった健太郎氏と結婚。平成元年には参議員議員夫人となり、本人の言葉では「青天の霹靂」、微力ながら一人でも多くの人の声を聞き、主人とのパイ役として頑張りたい」とのこと。家庭では二男の母であり、福商会でも代議員を務めています。

白水 清道 君(75回生)



昭和五十年、昭和五十一年の玉竜旗大会で大将として、連覇を成し遂げ、福商剣道部の名を高めた。国士館大

学一年の時には全日本大学選手権団体優勝、個人三位の栄誉に輝きました。

大学卒業後、福岡県立高校教員となり二十五年度、前任校の西福岡高校では女子チームをインターハイに導きました。今春から筑紫中央高校に移り、玉竜旗優勝をめざしています。現在教士七段。

小林 幸一 君(77回生)



昭和五十三年のサッカーインターハイ及び正月の全国選手権大会出場の中心選手。福岡大学卒業後、Jリーグ

スタート以前の日本サッカーリーグで、フジタ工業のセンターフォワードとして活躍。天皇杯で得点主にもなる。現在(株)フジタの九州支店で営業部の課長として頑張っています。今春、長男の幸平君が福岡高校野球部に入部しました。身長180センチ、父親ゆずりの立派な体格で期待の星です。

秦 敬治 君(80回生)



母校ではサッカー部で活躍。西南学院大学商学部、九州大学大学院博士課程を経て、現在は西南学院大学本

部職員で西南学院大学サッカー部監督。昭和61年から同大学のサッカー部を指導し、今年の九州大学サッカー選手権大会において、準優勝する等卓越した手腕を発揮している。母校のサッカー部復活のため、大学チームと交流戦を行う等、後進の指導にも力を注いでいます。

PLAYBACK
青春 プレイバック……③

福商野球部



福翔高等学校教諭
野球部監督
中山 浩二 (87回生)

福商野球部の歴史をふり返りますと、非常に伝統の重さを感じます。野球の第一回全国大会が1915年に開催されています。各大会結果をみますと、

第2回大会では、九州でベスト4、第3回大会では九州で準優勝と輝かしい実績を残しています。ここ20年のうちでは昭和62、63年福岡地区一年生大会連続優勝、平成元年同大会準優勝。平成2年には、秋季九州大会福岡県予選では準優勝、平成5年春季福岡市長杯優勝という実績を残しています。このような素晴らしい伝統のある野球部の名に恥じないようにさらに輝きを増すよう努力していかねばなりません。

私は、小さいころから野球を始め、中学、高校、大学と野球を続け、現在母校福翔の野球部の監督をさせていただきながら、高校野球に携わっています。教員を目指したときから野球をするなら高校でと思っていました。運よく、縁あつて母校で野球ができることに幸せを感じながら、たくさんの方への感謝の気持ちを忘れないようにしていかなければならないと常々考えています。私は、高校野球に誇りを持っています。一般的な考え方では、いま一つ理解できないようなこともある独特の文化をもった世界が高校野球です。高校生が高校で野球をするのは高校野球ではないと私は考えます。高校生が高校で高

校野球をするのが高校野球だと思いません。高校野球を英語表記するならば「High School Baseball」ではなく「Koukoukyaku」と表したいです。

高校野球は筋書きのないドラマとよく言われます。今夏の大会もその一つだったでしょう。特に春日高校とのバート決勝では、序盤に5点を取られたものの8回表に同点とし、9回表には3点を奪い逆点、その裏に悲劇が待っていました。ものの10分間の中に詰め込まれた「天国と地獄」野球の楽しさと恐ろしさが、改めて高校野球の難しさ、奥深さを痛感させられるものでした。この大会では、たくさんのOBの方々、保護者、卒業生、福翔生には炎天下の中、猛烈な応援をいただき本当にありがとございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

これからの野球部の進んでゆく方向は、とにかく、応援して下さい。多くの方の思いも込めて、県大会出場、甲子園出場を目指し、ひたむきに努力を重ね、結果を残していくことだと思えます。さらに、1005年の歴史と伝統の重さを感じながら、今後益々無限の輝きを放ち続けられるように努めていきたいと思えます。

最後になりますが、永年にわたり、福翔野球部を全面的に応援していただいた「甲子園へ送る会」江頭文作会長が今年一月永眠されました。ご冥福をお祈り申し上げます。

五月晴れのもと、 目頃の腕を競う 第36回ゴルフ大会開催

平成17年5月20日、ゴルフ日和の五月晴れのもと、ザ・クイーンズヒルズGCで第36回福商会ゴルフ大会が開催されました。

当日は103名の参加があり、同窓同士が日頃の腕を競い合い、楽しい一日を過ごしました。競技はダブルペリア方式で行われ、松組(51回生まで)、竹組(52回生から57回生)、梅組(58回生以降)に分かれ午前8時にスタートしました。競技終了後、松尾副理事長の挨拶に続き、成績発表と懇親会が行われました。実行委員長の小嶋康博氏(59回生)のご努力により、同窓各位から沢山の賞品が集まり、参加者全員から大変喜ばれました。ご協賛いただきました皆様に誌面を借りまして厚くお礼申し上げます。最後に各組優勝者からの挨拶と古賀正之さん(78回生)の校歌斉唱と福商エールを行い、ゴルフ大会を無事終了することができました。

各組の成績は下記の通りです。

| 梅組 | 58回生以降 | 竹組 | 52~57回生 | 松組 | 51回生まで |
|-----|---------------|-----|---------------|-----|---------------|
| 優勝 | 内田 建一 (59回生) | 優勝 | 河村 準二 (54回生) | 優勝 | 柴田 陽一 (49回生) |
| 準優勝 | 木村 日登志 (67回生) | 準優勝 | 秋山 要一 (55回生) | 準優勝 | 吉積 隆二 (50回生) |
| 3位 | 廣田 良隆 (60回生) | 3位 | 草場 健二 (52回生) | 3位 | 鈴木 秀夫 (50回生) |
| 4位 | 小西 啓介 (59回生) | 4位 | 池田 新太郎 (52回生) | 4位 | 花村 清二 (41回生) |
| 5位 | 川瀧 哲雄 (63回生) | 5位 | 篠原 隆義 (54回生) | 5位 | 矢部 國太郎 (50回生) |
| 6位 | 北風 善弘 (59回生) | 6位 | 大神 治幸 (55回生) | 6位 | 戸川 博 (49回生) |
| 7位 | 安藤 俊六 (59回生) | 7位 | 浮田 泰夫 (55回生) | 7位 | 空閑 謙二 (50回生) |
| 8位 | 小嶋 康博 (59回生) | 8位 | 鳥井 正義 (56回生) | 8位 | 松尾 嘉助 (43回生) |
| 9位 | 岩尾 眞 (80回生) | 9位 | 梅津 武敏 (55回生) | 9位 | 山口 誉 (49回生) |
| 10位 | 許斐 克志 (60回生) | 10位 | 田中 昌夫 (52回生) | 10位 | 川野 勲 (51回生) |



写真は優勝された三名の方々です。
左より柴田陽一さん(49回生)、
河村準二さん(54回生)、
内田建一さん(59回生)

笑いの健康法...その2



(社)中高年齢者雇用福祉協会 主任講師
NPO法人博多笑塾相談役
坂本 徳俊 (54回生)



③ 元気で長生き！その秘訣

「病気になるったら病気を治すな」己を見直せ、と言ったことです。ライフスタイルを見直すこと、生活習慣をこれぞよいのかと考えて、思考することなのです。日本と中国の合同調査でそれぞれの国の、元気で長生きしている人を調べてわかったことは、どの人も楽道家・おめでたい人として知的ミスター、好奇心一杯の人なんです。

取り越し苦労は百害あって一利なし、物事を良いほうに考える習慣が大切なんです。病気になることも、少し休みなさいと言った天からのメッセージと考えると、それまでの元気な時には見えなかったものが、見えてくることもたくさんあります。すると病気のお蔭でと言った言葉が、自然に出てくるようになった人が多数おられます。

④ 笑いを大脳生理学から考える

呼吸生理学から考えると、生きるとは息をするのが縮まった形。生命エネルギーを効率よく取り入れる健康法として呼吸法は、ヨガ、太極拳など数多くあります。腹式呼吸の一種笑いも、内臓のジヨギングで、且つマッサージと同じことなんです。大脳生理学から考えると、新皮質は人間らしい脳であり、それを支える脳幹と旧皮質は動物脳です。動物脳を鍛えるには、大自然と五感を通して接することがいいのです。土に親しむ、ペットを飼う、

森林浴、競争をしない。スポーツや遊び等、また体ごとぶつかることが出来る音楽や踊り(ダンス)、気の合った者との会話。毎日ドキドキワクワク嬉しさ、楽しい感情こそ生きる力の源だと思えます。そして健康は生きる喜びから生まれた結果なんです。笑いは生活を変える、とっておきの特効薬です!!

⑤ 生きる意欲と笑い

身体には使えば発達する、使わなければ退化するという法則があることをご存知ですか、これを廃用症候群と言います。寝たきりになったときのことを考えてみましょう。

足腰が弱り筋力が低下、関節の動きが悪くなり、皮膚の艶と、抵抗力が弱まります。あるいは心臓の力がなくなり、肺の機能が悪化、骨ももろくなり頭を使わなければ、脳細胞が萎縮し、痴呆症状が加味します。つまり神様から与えられた身体は使いきること、生き生きとした健康体になれるのです。

この法則は精神、心にも当てはまりますが精神面に於いて使わないと退化するもの、それは笑いなのです。笑いは心の毒を浄化し新しい気分をもたらす、その振動が細胞を生き生きとさせ脳を刺激し、生きる意欲や喜び、希望さえ与えてくれます。笑いの医学的効果は最近になり学会でも研究され、アメリカでは「ユーモアセラピー」と言った新しい治療法と

して、確立されつつあります。笑いはがん細胞をやっつけるNK細胞の活性化を高め、免疫力を強くします。人間がもつ自然治癒力を強くし、緊張や対立も緩和してくれる、まさに魔法の薬なのです。
(完)

笑いは魔法の薬



笑いの医学的効用九カ条

- 一、脳内ホルモン(βエンドルフィン)が分泌され、ストレスを解消。
- 二、腹式呼吸を促進し、消化機能を高めて長(腸)寿になる。
- 三、NK「ナチュラルキラー」細胞が増加し、免疫力を高めてがん細胞を攻撃する。
- 四、血液をサラサラにし、糖尿病、心臓病、肥満、老化ボケを予防する。
- 五、アルファ波が増え、情緒が安定し、リラックスできる。
- 六、心と体を癒し和ませる。医学、介護教育にも威力を發揮する。
- 七、やる気や生き甲斐がアップし、充実した生活がおくれる。
- 八、自分が笑うことで相手も笑う「ミラー現象」で世界に平和をもたらす。
- 九、笑いは世界共通の言葉であり、人と人を繋ぐ絆である。

福商100年史...②

部活動のスタート

松原校舎時代(明治34年〜昭和4年)

「松原校舎」は、筑紫郡千代村堅粕字狐穴(現福岡市博多区)の国有林の払い下げ地に建設された。新校舎は木造二階建てで、壁面をベンガラ色(紅殻色)に塗ったモダンな建物だった。千代の松原の松林を伐採した跡に建てられたので、通称「松原校舎」と呼ばれている。明治34年5月(1901)に校舎が福岡市商業学校から「福岡市立福岡商業学校」に改称された。そして同年、正規の学業だけでなく、文芸部や運動部などの課外活動による、全人教育を商業学校づくりのモットーとする有村彦九郎校長の提案で「学友会」が創設された。

学友会の設立により、今でいう「部活」が正式にスタートした。ボート(端艇科)、テニス(球術科)、柔道のいずれかに在校生は全員所属した。

特にボートは「商業学校には海洋思想の普及が肝要だ」と言って、有村校長は市会議員を説得し、予算を獲得して大型ボートを購入した。練習場所は博多湾や那珂川で行われ、中島橋を通る人はこれを見て「福商に入れば、あのボートに乗れるんだぞ」と評判になった。

また、同年の夏休みから、商業実習のための「行商」が開始された。行商は他校に



■松原校舎本館

は見られない商業学校として本校独自のものであった。商業教育は教室での机上の勉強だけでなく、積極的に現場に足を運んで商業実習を行うことを目的としたもので、現在でいえばフィールドワークのはしりでもあったといえよう。

生徒たちは「商」の字の制帽と白小倉の夏の制服に身を固め、博多織や財布、筆や墨、歯磨きなどの小間物類を肩に、チームを組んで中国地方や九州各地を、文字通り炎天下に汗を流して売り歩いた。

翌35年には海を渡って韓国まで足を伸ばしている。韓国行商の行程は、博多港から門司港を経て、まず釜山に上陸し、釜山―木浦―平壤―仁川―京城(ソウル)―釜山などが主なコースであった。

FNFA 第一回イベント
FUKUSHO OB LIVE!
決定

FUKUSHO OBの皆様へ
んには。FNFAの101回生
寒竹麻衣子です。

前回の会報でも少し告知させて
いただきましたが、この度福商
会に新しくFNFA(ファンファ)
という組織ができました。

- F...FUKUSHO
- N...Navi
- F...Field
- A...Assistance

FUKUSHO OBの交流を目的とし、若い世代が中心となって、さまざまな企画を運営・サポートしていくこととするものです。結成からはや数ヶ月...月に一度の話し合いの中、一つのイベントの開催に向けてがんばっています!その記念すべき第一回目のイベントはFUKUSHO OB LIVE!です。卒業してから、音楽活動や芸術活動をしているOBの発表を通して交流を深めようとするものです。先日の全国合同同窓大会でも、チラシを配付させていただきましたが、少し変更がありま



(進行状況を随時報告しています。SAFE紹介など)

FUKUSHO OB LIVE!

日時 2005年11月20日(日)
17時 START

場所 『SJORRA(シーラ)』
福岡市中央区大名丁目15-38 3F

TEL 092-738-7770

会費 ¥1,500(ドリンク+軽食)

☆現在もまだまだ出演者を募集中です。
☆前売りチケット予約などお気軽にお問
合わせ下さい。

Mail: fnfa@fukuob.com
HP: www.fukuob.com

- ① 赤司 祥吾 ② 森田 俊夫 ③ 椎原 孝和 ④ 未安 厚治 ⑤ 長野 祐子 ⑥ 児玉 眺代 ⑦ 長谷州身子 ⑧ 青木ひとみ ⑨ 山崎忠理子 ⑩ 中洲弘子 ⑪ 林田三津子 ⑫ 南原 茂 ⑬ 金城 守 ⑭ 三角 豊和 ⑮ 水越恵美子 ⑯ 柳瀬多美子 ⑰ 泊久美子 ⑱ 山口 隆雄 ⑲ 阿部 和子 ⑳ 中島 勝江 ㉑ 奥山 俊英 ㉒ 本山 豊作 ㉓ 中野貴久子 ㉔ 古賀 清美 ㉕ 前崎 享一 ㉖ 青木 進 ㉗ 大徳 絹代 ㉘ 宮重 美信 ㉙ 高田 芳昭 ㉚ 平田 哲世 ㉛ 宝閣 哲子 ㉜ 山本 芳子 ㉝ 栗崎 弘子 ㉞ 西野 安夫 ㉟ 高崎 文江 ㊱ 妹尾美貴子 ㊲ 光安 光枝 ㊳ 今林 弘子 ㊴ 高澄 親雄 ㊵ 河口 吉幸 ㊶ 山口 順彦 ㊷ 高橋 利彦 ㊸ 大森 妙子 ㊹ 伊藤 恭介 ㊺ 田部篤二郎 ㊻ 黒木小夜子 ㊼ 案浦 則子 ㊽ 井上 信男 ㊾ 真子 紀男 ㊿ 久保 誠司 ① 武林 哲朗 ② 山田 千穂 ③ 山崎衣里子 ④ 馬木隆雅 ⑤ 入江 武実 ⑥ 谷野 稔 ⑦ 柴田 巖 ⑧ 柴田 実夫 ⑨ 安川 実夫 ⑩ 吉武 誠一 ⑪ 藤 直記 ⑫ 中尾孝之祐 ⑬ 四島 正夫 ⑭ 真鍋 正夫 ⑮ 村上 玉城 ⑯ 三上 孝 ⑰ 下村 五郎 ⑱ 魚住 宏之 ⑲ 石津 清 ⑳ 木下 清 ㉑ 香月 弥一 ㉒ 吉住 敬造 ㉓ 藤島規久士 ㉔ 高宮 春夫 ㉕ 渡邊健二郎 ㉖ 富岡 繁 ㉗ 百済 朝夫 ㉘ 荻野 和之 ㉙ 林 千之助 ㉚ 古屋 龍雄 ㉛ 雨野 豊 ㉜ 羽野 隆治 ㉝ 山本登茂子 ㉞ 福永 篤 ㉟ 福永 政幸 ㊱ 嶋田 光雄 ㊲ 柴田 幸夫 ㊳ 小倉 幸夫 ㊴ 安河内健二 ㊵ 三浦 隆義 ㊶ 橋爪 一郎 ㊷ 安川 正一 ㊸ 牛田 英男 ㊹ 道面 新石 ㊺ 渡辺渡美男 ㊻ 藤木 淳介 ㊼ 廣澤 茂男 ㊽ 山本 俊生 ㊾ 飯田九州男 ㊿ 淀川良太郎 ① 谷岡 正章 ② 日野杉克志 ③ 井上 清織 ④ 堀 勝彦 ⑤ 熊本 恵美 ⑥ 吉村 俊之 ⑦ 佐藤るみこ ⑧ 原 早苗 ⑨ 波多江みち子 ⑩ 織田 春代 ⑪ 寺崎 裕幸 ⑫ 野口 規子 ⑬ 明石 徳雄 ⑭ 安光 俊雄 ⑮ 山崎 茂之 ⑯ 中野 清志 ⑰ 伊藤 俊治 ⑱ 古村 春仁 ⑲ 山根 英樹 ⑳ 村上 勝 ㉑ 村下 政枝 ㉒ 智原 英子 ㉓ 廣渡 順子 ㉔ 安武 文 ㉕ 松本 忠敬 ㉖ 今井 文喜 ㉗ 南原 誠司 ㉘ 植原 勉 ㉙ 向坊 澄子 ㉚ 波多江幸子 ㉛ 星野 清 ㉜ 船越 忠彦 ㉝ 白石 誠一 ㉞ 鹿兒島史浪 ㉟ 三木 剛 ㊱ 児嶋 正直 ㊲ 肥山 祐之 ㊳ 内村 忠幸 ㊴ 崎村 凡規 ㊵ 藤本庄之介 ㊶ 宮原 守男 ㊷ 山本 峻三 ㊸ 樋口 和夫 ㊹ 関 賢裕 ㊺ 藤野 敬一 ㊻ 安河内 誠 ㊼ 田中 昌夫 ㊽ 池田新太郎 ㊾ 園田 尚徳 ㊿ 添田 満夫 ① 山下 勳三 ② 西嶋 軍治 ③ 船越 光敏 ④ 朝川 桂子 ⑤ 立川 洋蔵 ⑥ 仲山 博文 ⑦ 岩崎 孝美 ⑧ 上村 幹郎 ⑨ 新谷 友子 ⑩ 川西加代子 ⑪ 土内 博司 ⑫ 山下 実 ⑬ 木庭しげ美 ⑭ 石村 善左 ⑮ 大坪 久一 ⑯ 吉田 豊 ⑰ 池見 規雄 ⑱ 眞崎 昭治 ⑲ 眞崎 陽一 ⑳ 小柳 政高 ㉑ 居石 元治 ㉒ 亀岡完二郎 ㉓ 長 三吉郎 ㉔ 田中 正剛 ㉕ 財津 徹伯 ㉖ 日高淳二郎 ㉗ 奥村 健次 ㉘ 細川 操 ㉙ 野原 昌三 ㉚ 津留 唯光 ㉛ 井上 祐司 ㉜ 関 修治 ㉝ 森 武紀 ㉞ 今林 治美 ㉟ 徳重 和美 ㊱ 石川 一夫 ㊲ 竹森 淳 ㊳ 瓜生 元治 ㊴ 内海 清 ㊵ 柴田正二郎 ㊶ 宅嶋 徳昌 ㊷ 木下 敏子 ㊸ 進藤 京子 ㊹ 仲小 信雄 ㊺ 西村 房巳 ㊻ 西村 保雄 ㊼ 北本 浩二 ㊽ 宮村 瑛子 ㊾ 眞藤 瑛子 ㊿ 河津 憲子 ① 安河内 康雄 ② 高田 康雄 ③ 伊藤 道子 ④ 田代 忠 ⑤ 和田加代子 ⑥ 入江 淳 ⑦ 坂部 紘二 ⑧ 弓 孝夫 ⑨ 嶋川ヤス子 ⑩ 小西 啓介 ⑪ 堀田 稔 ⑫ 菊地眞佐子 ⑬ 仲尾次 弘 ⑭ 原嶋 國治 ⑮ 秋山 要一 ⑯ 仲尾次 弘 ⑰ 菊地眞佐子 ⑱ 堀 泰之 ⑲ 小西 啓介 ⑳ 嶋川ヤス子 ㉑ 坂部 紘二 ㉒ 入江 淳 ㉓ 和田加代子 ㉔ 伊藤 道子 ㉕ 高田 康雄 ㉖ 安河内 康雄 ㉗ 河津 憲子 ㉘ 眞藤 瑛子 ㉙ 宮村 瑛子 ㉚ 北本 浩二 ㉛ 山本 恭子 ㉜ 神脇 純孝 ㉝ 藤村みつの節 ㉞ 安河内 馨 ㉟ 川淵 節 ㊱ 今井 勝彦 ㊲ 福永 正之 ㊳ 有馬 米一 ㊴ 長澤 重嘉 ㊵ 高木不二男 ㊶ 西島 和代 ㊷ 高木不二男 ㊸ 原嶋 國治 ㊹ 秋山 要一 ㊺ 仲尾次 弘 ㊻ 菊地眞佐子 ㊼ 堀 泰之 ㊽ 小西 啓介 ㊾ 嶋川ヤス子 ㊿ 坂部 紘二 ㊱ 入江 淳 ㊲ 和田加代子 ㊳ 伊藤 道子 ㊴ 高田 康雄 ㊵ 安河内 康雄 ㊶ 河津 憲子 ㊷ 眞藤 瑛子 ㊸ 宮村 瑛子 ㊹ 北本 浩二 ㊺ 山本 恭子 ㊻ 津留 唯光 ㊼ 井上 祐司 ㊽ 関 修治 ㊾ 森 武紀 ㊿ 今林 治美 ㊱ 徳重 和美 ㊲ 石川 一夫 ㊳ 竹森 淳 ㊴ 瓜生 元治 ㊵ 内海 清 ㊶ 柴田正二郎 ㊷ 宅嶋 徳昌 ㊸ 木下 敏子 ㊹ 進藤 京子 ㊺ 仲小 信雄 ㊻ 西村 房巳 ㊼ 西村 保雄 ㊽ 北本 浩二 ㊾ 宮村 瑛子 ㊿ 眞藤 瑛子 ㊱ 河津 憲子 ㊲ 安河内 康雄 ㊳ 高田 康雄 ㊴ 伊藤 道子 ㊵ 田代 忠 ㊶ 和田加代子 ㊷ 入江 淳 ㊸ 坂部 紘二 ㊹ 弓 孝夫 ㊺ 嶋川ヤス子 ㊻ 小西 啓介 ㊼ 堀田 稔 ㊽ 菊地眞佐子 ㊾ 仲尾次 弘 ㊿ 原嶋 國治 ㊱ 秋山 要一 ㊲ 仲尾次 弘 ㊳ 菊地眞佐子 ㊴ 堀 泰之 ㊵ 小西 啓介 ㊶ 嶋川ヤス子 ㊷ 坂部 紘二 ㊸ 入江 淳 ㊹ 和田加代子 ㊺ 伊藤 道子 ㊻ 高田 康雄 ㊼ 安河内 康雄 ㊽ 河津 憲子 ㊾ 眞藤 瑛子 ㊿ 宮村 瑛子 ㊱ 北本 浩二 ㊲ 山本 恭子 ㊳ 津留 唯光 ㊴ 井上 祐司 ㊵ 関 修治 ㊶ 森 武紀 ㊿ 今林 治美 ㊱ 徳重 和美 ㊲ 石川 一夫 ㊳ 竹森 淳 ㊴ 瓜生 元治 ㊵ 内海 清 ㊶ 柴田正二郎 ㊷ 宅嶋 徳昌 ㊸ 木下 敏子 ㊹ 進藤 京子 ㊺ 仲小 信雄 ㊻ 西村 房巳 ㊼ 西村 保雄 ㊽ 北本 浩二 ㊾ 宮村 瑛子 ㊿ 眞藤 瑛子 ㊱ 河津 憲子 ㊲ 安河内 康雄 ㊳ 高田 康雄 ㊴ 伊藤 道子 ㊵ 田代 忠 ㊶ 和田加代子 ㊷ 入江 淳 ㊸ 坂部 紘二 ㊹ 弓 孝夫 ㊺ 嶋川ヤス子 ㊻ 小西 啓介 ㊼ 堀田 稔 ㊽ 菊地眞佐子 ㊾ 仲尾次 弘 ㊿ 原嶋 國治 ㊱ 秋山 要一 ㊲ 仲尾次 弘 ㊳ 菊地眞佐子 ㊴ 堀 泰之 ㊵ 小西 啓介 ㊶ 嶋川ヤス子 ㊷ 坂部 紘二 ㊸ 入江 淳 ㊹ 和田加代子 ㊺ 伊藤 道子 ㊻ 高田 康雄 ㊼ 安河内 康雄 ㊽ 河津 憲子 ㊾ 眞藤 瑛子 ㊿ 宮村 瑛子 ㊱ 北本 浩二 ㊲ 山本 恭子 ㊳ 津留 唯光 ㊴ 井上 祐司 ㊵ 関 修治 ㊶ 森 武紀 ㊿ 今林 治美 ㊱ 徳重 和美 ㊲ 石川 一夫 ㊳ 竹森 淳 ㊴ 瓜生 元治 ㊵ 内海 清 ㊶ 柴田正二郎 ㊷ 宅嶋 徳昌 ㊸ 木下 敏子 ㊹ 進藤 京子 ㊺ 仲小 信雄 ㊻ 西村 房巳 ㊼ 西村 保雄 ㊽ 北本 浩二 ㊾ 宮村 瑛子 ㊿ 眞藤 瑛子 ㊱ 河津 憲子 ㊲ 安河内 康雄 ㊳ 高田 康雄 ㊴ 伊藤 道子 ㊵ 田代 忠 ㊶ 和田加代子 ㊷ 入江 淳 ㊸ 坂部 紘二 ㊹ 弓 孝夫 ㊺ 嶋川ヤス子 ㊻ 小西 啓介 ㊼ 堀田 稔 ㊽ 菊地眞佐子 ㊾ 仲尾次 弘 ㊿ 原嶋 國治 ㊱ 秋山 要一 ㊲ 仲尾次 弘 ㊳ 菊地眞佐子 ㊴ 堀 泰之 ㊵ 小西 啓介 ㊶ 嶋川ヤス子 ㊷ 坂部 紘二 ㊸ 入江 淳 ㊹ 和田加代子 ㊺ 伊藤 道子 ㊻ 高田 康雄 ㊼ 安河内 康雄 ㊽ 河津 憲子 ㊾ 眞藤 瑛子 ㊿ 宮村 瑛子 ㊱ 北本 浩二 ㊲ 山本 恭子 ㊳ 津留 唯光 ㊴ 井上 祐司 ㊵ 関 修治 ㊶ 森 武紀 ㊿ 今林 治美 ㊱ 徳重 和美 ㊲ 石川 一夫 ㊳ 竹森 淳 ㊴ 瓜生 元治 ㊵ 内海 清 ㊶ 柴田正二郎 ㊷ 宅嶋 徳昌 ㊸ 木下 敏子 ㊹ 進藤 京子 ㊺ 仲小 信雄 ㊻ 西村 房巳 ㊼ 西村 保雄 ㊽ 北本 浩二 ㊾ 宮村 瑛子 ㊿ 眞藤 瑛子 ㊱ 河津 憲子 ㊲ 安河内 康雄 ㊳ 高田 康雄 ㊴ 伊藤 道子 ㊵ 田代 忠 ㊶ 和田加代子 ㊷ 入江 淳 ㊸ 坂部 紘二 ㊹ 弓 孝夫 ㊺ 嶋川ヤス子 ㊻ 小西 啓介 ㊼ 堀田 稔 ㊽ 菊地眞佐子 ㊾ 仲尾次 弘 ㊿ 原嶋 國治 ㊱ 秋山 要一 ㊲ 仲尾次 弘 ㊳ 菊地眞佐子 ㊴ 堀 泰之 ㊵ 小西 啓介 ㊶ 嶋川ヤス子 ㊷ 坂部 紘二 ㊸ 入江 淳 ㊹ 和田加代子 ㊺ 伊藤 道子 ㊻ 高田 康雄 ㊼ 安河内 康雄 ㊽ 河津 憲子 ㊾ 眞藤 瑛子 ㊿ 宮村 瑛子 ㊱ 北本 浩二 ㊲ 山本 恭子 ㊳ 津留 唯光 ㊴ 井上 祐司 ㊵ 関 修治 ㊶ 森 武紀 ㊿ 今林 治美 ㊱ 徳重 和美 ㊲ 石川 一夫 ㊳ 竹森 淳 ㊴ 瓜生 元治 ㊵ 内海 清 ㊶ 柴田正二郎 ㊷ 宅嶋 徳昌 ㊸ 木下 敏子 ㊹ 進藤 京子 ㊺ 仲小 信雄 ㊻ 西村 房巳 ㊼ 西村 保雄 ㊽ 北本 浩二 ㊾ 宮村 瑛子 ㊿ 眞藤 瑛子 ㊱ 河津 憲子 ㊲ 安河内 康雄 ㊳ 高田 康雄 ㊴ 伊藤 道子 ㊵ 田代 忠 ㊶ 和田加代子 ㊷ 入江 淳 ㊸ 坂部 紘二 ㊹ 弓 孝夫 ㊺ 嶋川ヤス子 ㊻ 小西 啓介 ㊼ 堀田 稔 ㊽ 菊地眞佐子 ㊾ 仲尾次 弘 ㊿ 原嶋 國治 ㊱ 秋山 要一 ㊲ 仲尾次 弘 ㊳ 菊地眞佐子 ㊴ 堀 泰之 ㊵ 小西 啓介 ㊶ 嶋川ヤス子 ㊷ 坂部 紘二 ㊸ 入江 淳 ㊹ 和田加代子 ㊺ 伊藤 道子 ㊻ 高田 康雄 ㊼ 安河内 康雄 ㊽ 河津 憲子 ㊾ 眞藤 瑛子 ㊿ 宮村 瑛子 ㊱ 北本 浩二 ㊲ 山本 恭子 ㊳ 津留 唯光 ㊴ 井上 祐司 ㊵ 関 修治 ㊶ 森 武紀 ㊿ 今林 治美 ㊱ 徳重 和美 ㊲ 石川 一夫 ㊳ 竹森 淳 ㊴ 瓜生 元治 ㊵ 内海 清 ㊶ 柴田正二郎 ㊷ 宅嶋 徳昌 ㊸ 木下 敏子 ㊹ 進藤 京子 ㊺ 仲小 信雄 ㊻ 西村 房巳 ㊼ 西村 保雄 ㊽ 北本 浩二 ㊾ 宮村 瑛子 ㊿ 眞藤 瑛子 ㊱ 河津 憲子 ㊲ 安河内 康雄 ㊳ 高田 康雄 ㊴ 伊藤 道子 ㊵ 田代 忠 ㊶ 和田加代子 ㊷ 入江 淳 ㊸ 坂部 紘二 ㊹ 弓 孝夫 ㊺ 嶋川ヤス子 ㊻ 小西 啓介 ㊼ 堀田 稔 ㊽ 菊地眞佐子 ㊾ 仲尾次 弘 ㊿ 原嶋 國治 ㊱ 秋山 要一 ㊲ 仲尾次 弘 ㊳ 菊地眞佐子 ㊴ 堀 泰之 ㊵ 小西 啓介 ㊶ 嶋川ヤス子 ㊷ 坂部 紘二 ㊸ 入江 淳 ㊹ 和田加代子 ㊺ 伊藤 道子 ㊻ 高田 康雄 ㊼ 安河内 康雄 ㊽ 河津 憲子 ㊾ 眞藤 瑛子 ㊿ 宮村 瑛子 ㊱ 北本 浩二 ㊲ 山本 恭子 ㊳ 津留 唯光 ㊴ 井上 祐司 ㊵ 関 修治 ㊶ 森 武紀 ㊿ 今林 治美 ㊱ 徳重 和美 ㊲ 石川 一夫 ㊳ 竹森 淳 ㊴ 瓜生 元治 ㊵ 内海 清 ㊶ 柴田正二郎 ㊷ 宅嶋 徳昌 ㊸ 木下 敏子 ㊹ 進藤 京子 ㊺ 仲小 信雄 ㊻ 西村 房巳 ㊼ 西村 保雄 ㊽ 北本 浩二 ㊾ 宮村 瑛子 ㊿ 眞藤 瑛子 ㊱ 河津 憲子 ㊲ 安河内 康雄 ㊳ 高田 康雄 ㊴ 伊藤 道子 ㊵ 田代 忠 ㊶ 和田加代子 ㊷ 入江 淳 ㊸ 坂部 紘二 ㊹ 弓 孝夫 ㊺ 嶋川ヤス子 ㊻ 小西 啓介 ㊼ 堀田 稔 ㊽ 菊地眞佐子 ㊾ 仲尾次 弘 ㊿ 原嶋 國治 ㊱ 秋山 要一 ㊲ 仲尾次 弘 ㊳ 菊地眞佐子 ㊴ 堀 泰之 ㊵ 小西 啓介 ㊶ 嶋川ヤス子 ㊷ 坂部 紘二 ㊸ 入江 淳 ㊹ 和田加代子 ㊺ 伊藤 道子 ㊻ 高田 康雄 ㊼ 安河内 康雄 ㊽ 河津 憲子 ㊾ 眞藤 瑛子 ㊿ 宮村 瑛子 ㊱ 北本 浩二 ㊲ 山本 恭子 ㊳ 津留 唯光 ㊴ 井上 祐司 ㊵ 関 修治 ㊶ 森 武紀 ㊿ 今林 治美 ㊱ 徳重 和美 ㊲ 石川 一夫 ㊳ 竹森 淳 ㊴ 瓜生 元治 ㊵ 内海 清 ㊶ 柴田正二郎 ㊷ 宅嶋 徳昌 ㊸ 木下 敏子 ㊹ 進藤 京子 ㊺ 仲小 信雄 ㊻ 西村 房巳 ㊼ 西村 保雄 ㊽ 北本 浩二 ㊾ 宮村 瑛子 ㊿ 眞藤 瑛子 ㊱ 河津 憲子 ㊲ 安河内 康雄 ㊳ 高田 康雄 ㊴ 伊藤 道子 ㊵ 田代 忠 ㊶ 和田加代子 ㊷ 入江 淳 ㊸ 坂部 紘二 ㊹ 弓 孝夫 ㊺ 嶋川ヤス子 ㊻ 小西 啓介 ㊼ 堀田 稔 ㊽ 菊地眞佐子 ㊾ 仲尾次 弘 ㊿ 原嶋 國治 ㊱ 秋山 要一 ㊲ 仲尾次 弘 ㊳ 菊地眞佐子 ㊴ 堀 泰之 ㊵ 小西 啓介 ㊶ 嶋川ヤス子 ㊷ 坂部 紘二 ㊸ 入江 淳 ㊹ 和田加代子 ㊺ 伊藤 道子 ㊻ 高田 康雄 ㊼ 安河内 康雄 ㊽ 河津 憲子 ㊾ 眞藤 瑛子 ㊿ 宮村 瑛子 ㊱ 北本 浩二 ㊲ 山本 恭子 ㊳ 津留 唯光 ㊴ 井上 祐司 ㊵ 関 修治 ㊶ 森 武紀 ㊿ 今林 治美 ㊱ 徳重 和美 ㊲ 石川 一夫 ㊳ 竹森 淳 ㊴ 瓜生 元治 ㊵ 内海 清 ㊶ 柴田正二郎 ㊷ 宅嶋 徳昌 ㊸ 木下 敏子 ㊹ 進藤 京子 ㊺ 仲小 信雄 ㊻ 西村 房巳 ㊼ 西村 保雄 ㊽ 北本 浩二 ㊾ 宮村 瑛子 ㊿ 眞藤 瑛子 ㊱ 河津 憲子 ㊲ 安河内 康雄 ㊳ 高田 康雄 ㊴ 伊藤 道子 ㊵ 田代 忠 ㊶ 和田加代子 ㊷ 入江 淳 ㊸ 坂部 紘二 ㊹ 弓 孝夫 ㊺ 嶋川ヤス子 ㊻ 小西 啓介 ㊼ 堀田 稔 ㊽ 菊地眞佐子 ㊾ 仲尾次 弘 ㊿ 原嶋 國治 ㊱ 秋山 要一 ㊲ 仲尾次 弘 ㊳ 菊地眞佐子 ㊴ 堀 泰之 ㊵ 小西 啓介 ㊶ 嶋川ヤス子 ㊷ 坂部 紘二 ㊸ 入江 淳 ㊹ 和田加代子 ㊺ 伊藤 道子 ㊻ 高田 康雄 ㊼ 安河内 康雄 ㊽ 河津 憲子 ㊾ 眞藤 瑛子 ㊿ 宮村 瑛子 ㊱ 北本 浩二 ㊲ 山本 恭子 ㊳ 津留 唯光 ㊴ 井上 祐司 ㊵ 関 修治 ㊶ 森 武紀 ㊿ 今林 治美 ㊱ 徳重 和美 ㊲ 石川 一夫 ㊳ 竹森 淳 ㊴ 瓜生 元治 ㊵ 内海 清 ㊶ 柴田正二郎 ㊷ 宅嶋 徳昌 ㊸ 木下 敏子 ㊹ 進藤 京子 ㊺ 仲小 信雄 ㊻ 西村 房巳 ㊼ 西村 保雄 ㊽ 北本 浩二 ㊾ 宮村 瑛子 ㊿ 眞藤 瑛子 ㊱ 河津 憲子 ㊲ 安河内 康雄 ㊳ 高田 康雄 ㊴ 伊藤 道子 ㊵ 田代 忠 ㊶ 和田加代子 ㊷ 入江 淳 ㊸ 坂部 紘二 ㊹ 弓 孝夫 ㊺ 嶋川ヤス子 ㊻ 小西 啓介 ㊼ 堀田 稔 ㊽ 菊地眞佐子 ㊾ 仲尾次 弘 ㊿ 原嶋 國治 ㊱ 秋山 要一 ㊲ 仲尾次 弘 ㊳ 菊地眞佐子 ㊴ 堀 泰之 ㊵ 小西 啓介 ㊶ 嶋川ヤス子 ㊷ 坂部 紘二 ㊸ 入江 淳 ㊹ 和田加代子 ㊺ 伊藤 道子 ㊻ 高田 康雄 ㊼ 安河内 康雄 ㊽ 河津 憲子 ㊾ 眞藤 瑛子 ㊿ 宮村 瑛子 ㊱ 北本 浩二 ㊲ 山本 恭子 ㊳ 津留 唯光 ㊴ 井上 祐司 ㊵ 関 修治 ㊶ 森 武紀 ㊿ 今林 治美 ㊱ 徳重 和美 ㊲ 石川 一夫 ㊳ 竹森 淳 ㊴ 瓜生 元治 ㊵ 内海 清 ㊶ 柴田正二郎 ㊷ 宅嶋 徳昌 ㊸ 木下 敏子 ㊹ 進藤 京子 ㊺ 仲小 信雄 ㊻ 西村 房巳 ㊼ 西村 保雄 ㊽ 北本 浩二 ㊾ 宮村 瑛子 ㊿ 眞藤 瑛子 ㊱ 河津 憲子 ㊲ 安河内 康雄 ㊳ 高田 康雄 ㊴ 伊藤 道子 ㊵ 田代 忠 ㊶ 和田加代子 ㊷ 入江 淳 ㊸ 坂部 紘二 ㊹ 弓 孝夫 ㊺ 嶋川ヤス子 ㊻ 小西 啓介 ㊼ 堀田 稔 ㊽ 菊地眞佐子 ㊾ 仲尾次 弘 ㊿ 原嶋 國治 ㊱ 秋山 要一 ㊲ 仲尾次 弘 ㊳ 菊地眞佐子 ㊴ 堀 泰之 ㊵ 小西 啓介 ㊶ 嶋川ヤス子 ㊷ 坂部 紘二 ㊸ 入江 淳 ㊹ 和田加代子 ㊺ 伊藤 道子 ㊻ 高田 康雄 ㊼ 安河内 康雄 ㊽ 河津 憲子 ㊾ 眞藤 瑛子 ㊿ 宮村 瑛子 ㊱ 北本 浩二 ㊲ 山本 恭子 ㊳ 津留 唯光 ㊴ 井上 祐司 ㊵ 関 修治 ㊶ 森 武紀 ㊿ 今林 治美 ㊱ 徳重 和美 ㊲ 石川 一夫 ㊳ 竹森 淳 ㊴ 瓜生 元治 ㊵ 内海 清 ㊶ 柴田正二郎 ㊷ 宅嶋 徳昌 ㊸ 木下 敏子 ㊹ 進藤 京子 ㊺ 仲小 信雄 ㊻ 西村 房巳 ㊼ 西村 保雄 ㊽ 北本 浩二 ㊾ 宮村 瑛子 ㊿ 眞藤 瑛子 ㊱ 河津 憲子 ㊲ 安河内 康雄 ㊳ 高田 康雄 ㊴ 伊藤 道子 ㊵ 田代 忠 ㊶ 和田加代子 ㊷ 入江 淳 ㊸ 坂部 紘二 ㊹ 弓 孝夫 ㊺ 嶋川ヤス子 ㊻ 小西 啓介 ㊼ 堀田 稔 ㊽ 菊地眞佐子 ㊾ 仲尾次 弘 ㊿ 原嶋 國治 ㊱ 秋山 要一 ㊲ 仲尾次 弘 ㊳ 菊地眞佐子 ㊴ 堀 泰之 ㊵ 小西 啓介 ㊶ 嶋川ヤス子 ㊷ 坂部 紘二 ㊸ 入江 淳 ㊹ 和田加代子 ㊺ 伊藤 道子 ㊻ 高田 康雄 ㊼ 安河内 康雄 ㊽ 河津 憲子 ㊾ 眞藤 瑛子 ㊿ 宮村 瑛子 ㊱ 北本 浩二 ㊲ 山本 恭子 ㊳ 津留 唯光 ㊴ 井上 祐司 ㊵ 関 修治 ㊶ 森 武紀 ㊿ 今林 治美 ㊱ 徳重 和美 ㊲ 石川 一夫 ㊳ 竹森 淳 ㊴ 瓜生 元治 ㊵ 内海 清 ㊶ 柴田正二郎 ㊷ 宅嶋 徳昌 ㊸ 木下 敏子 ㊹ 進藤 京子 ㊺ 仲小 信雄 ㊻ 西村 房巳 ㊼ 西村 保雄 ㊽ 北本 浩二 ㊾ 宮村 瑛子 ㊿ 眞藤 瑛子 ㊱ 河津 憲子 ㊲ 安河内 康雄 ㊳ 高田 康雄 ㊴ 伊藤 道子 ㊵ 田代 忠 ㊶ 和田加代子 ㊷ 入江 淳 ㊸ 坂部 紘二 ㊹ 弓 孝夫 ㊺ 嶋川ヤス子 ㊻ 小西 啓介 ㊼ 堀田 稔 ㊽ 菊地眞佐子 ㊾ 仲尾次 弘 ㊿ 原嶋 國治 ㊱ 秋山 要一 ㊲ 仲尾次 弘 ㊳ 菊地眞佐子 ㊴ 堀 泰之 ㊵ 小西 啓介 ㊶ 嶋川ヤス子 ㊷ 坂部 紘二 ㊸ 入江 淳 ㊹ 和田加代子 ㊺ 伊藤 道子 ㊻ 高田 康雄 ㊼ 安河内 康雄 ㊽ 河津 憲子 ㊾ 眞藤 瑛子 ㊿ 宮村 瑛子 ㊱ 北本 浩二 ㊲ 山本 恭子 ㊳ 津留 唯光 ㊴ 井上 祐司 ㊵ 関 修治 ㊶ 森 武紀 ㊿ 今林 治美 ㊱ 徳重 和美 ㊲ 石川 一夫 ㊳ 竹森 淳 ㊴ 瓜生 元治 ㊵ 内海 清 ㊶ 柴田正二郎 ㊷ 宅嶋 徳昌 ㊸ 木下 敏子 ㊹ 進藤 京子 ㊺ 仲小 信雄 ㊻ 西村 房巳 ㊼ 西村 保雄 ㊽ 北本 浩二 ㊾ 宮村 瑛子 ㊿ 眞藤 瑛子 ㊱ 河津 憲子 ㊲ 安河内 康雄 ㊳ 高田 康雄 ㊴ 伊藤 道子 ㊵ 田代 忠 ㊶ 和田加代子 ㊷ 入江 淳 ㊸ 坂部 紘二 ㊹ 弓 孝夫 ㊺ 嶋川ヤス子 ㊻ 小西 啓介 ㊼ 堀田 稔 ㊽ 菊地眞佐子 ㊾ 仲尾次 弘 ㊿ 原嶋 國治 ㊱ 秋山 要一 ㊲ 仲尾次 弘 ㊳ 菊地眞佐子 ㊴ 堀 泰之 ㊵ 小西 啓介 ㊶ 嶋川ヤス子 ㊷ 坂部 紘二 ㊸ 入江 淳 ㊹ 和田加代子 ㊺ 伊藤 道子 ㊻ 高田 康雄 ㊼ 安河内 康雄 ㊽ 河津 憲子 ㊾ 眞藤 瑛子 ㊿ 宮村 瑛子 ㊱ 北本 浩二 ㊲ 山本 恭子 ㊳ 津留 唯光 ㊴ 井上 祐司 ㊵ 関 修治 ㊶ 森 武紀 ㊿ 今林 治美 ㊱ 徳重 和美 ㊲ 石川 一夫 ㊳ 竹森 淳 ㊴ 瓜生 元治 ㊵ 内海 清 ㊶ 柴田正二郎 ㊷ 宅嶋 徳昌 ㊸ 木下 敏子 ㊹ 進藤 京子 ㊺ 仲小 信雄 ㊻ 西村 房巳 ㊼ 西村 保雄 ㊽ 北本 浩二 ㊾ 宮村 瑛子 ㊿ 眞藤 瑛子 ㊱ 河津 憲子 ㊲ 安河内 康雄 ㊳ 高田 康雄 ㊴ 伊藤 道子 ㊵ 田代 忠 ㊶ 和田加代子 ㊷ 入江 淳 ㊸ 坂部 紘二 ㊹ 弓 孝夫 ㊺ 嶋川ヤス子 ㊻ 小西 啓介 ㊼ 堀田 稔 ㊽ 菊地眞佐子 ㊾ 仲尾次 弘 ㊿ 原嶋 國治 ㊱ 秋山 要一 ㊲ 仲尾次 弘 ㊳ 菊地眞佐子 ㊴ 堀 泰之 ㊵ 小西 啓介 ㊶ 嶋川ヤス子 ㊷ 坂部 紘二 ㊸ 入江 淳 ㊹ 和田加代子 ㊺ 伊藤 道子 ㊻ 高田 康雄 ㊼ 安河内 康雄 ㊽ 河津 憲子 ㊾ 眞藤 瑛子 ㊿ 宮村 瑛子 ㊱ 北本 浩二 ㊲ 山本 恭子 ㊳ 津留 唯光 ㊴ 井上 祐司 ㊵ 関 修治 ㊶ 森 武紀 ㊿ 今林 治美 ㊱ 徳重 和美 ㊲ 石川 一夫 ㊳ 竹森 淳 ㊴ 瓜生 元治 ㊵ 内海 清 ㊶ 柴田正二郎 ㊷ 宅嶋 徳昌 ㊸ 木下 敏子 ㊹ 進藤 京子 ㊺ 仲小 信雄 ㊻ 西村 房巳 ㊼ 西村 保雄 ㊽ 北本 浩二 ㊾ 宮村 瑛子 ㊿ 眞藤 瑛子 ㊱ 河津 憲子 ㊲ 安河内 康雄 ㊳ 高田 康雄 ㊴ 伊藤 道子 ㊵ 田代 忠 ㊶ 和田加代子 ㊷ 入江 淳 ㊸ 坂部 紘二 ㊹ 弓 孝夫 ㊺ 嶋川ヤス子 ㊻ 小西 啓介 ㊼ 堀田 稔 ㊽ 菊地眞佐子 ㊾ 仲尾次 弘 ㊿ 原嶋 國治 ㊱ 秋山 要一 ㊲ 仲尾次 弘 ㊳ 菊地眞佐子 ㊴ 堀 泰之 ㊵ 小西 啓介 ㊶ 嶋川ヤス子 ㊷ 坂部 紘二 ㊸ 入江 淳 ㊹ 和田加代子 ㊺ 伊藤 道子 ㊻ 高田 康雄 ㊼ 安河内 康雄 ㊽ 河津 憲子 ㊾ 眞藤 瑛子 ㊿ 宮村 瑛子 ㊱ 北本 浩二 ㊲ 山本 恭子 ㊳ 津留 唯光 ㊴ 井上 祐司 ㊵ 関 修治 ㊶ 森 武紀 ㊿ 今林 治美 ㊱ 徳重 和美 ㊲ 石川 一夫 ㊳ 竹森 淳 ㊴ 瓜生 元治 ㊵ 内海 清 ㊶ 柴田正二郎 ㊷ 宅嶋 徳昌 ㊸ 木下 敏子 ㊹ 進藤 京子 ㊺ 仲小 信雄 ㊻ 西村 房巳 ㊼ 西村 保雄 ㊽ 北本 浩二 ㊾ 宮村 瑛子 ㊿ 眞藤 瑛子 ㊱ 河津 憲子 ㊲ 安河内 康雄 ㊳ 高田 康雄 ㊴ 伊藤 道子 ㊵ 田代 忠 ㊶ 和田加代子 ㊷ 入江 淳 ㊸ 坂部 紘二 ㊹ 弓 孝夫 ㊺ 嶋川ヤス子 ㊻ 小西 啓介 ㊼ 堀田 稔 ㊽ 菊地眞佐子 ㊾ 仲尾次 弘 ㊿ 原嶋 國治 ㊱ 秋山 要一 ㊲ 仲尾次 弘 ㊳ 菊地眞佐子 ㊴ 堀 泰之 ㊵ 小西 啓介 ㊶ 嶋川ヤス子 ㊷ 坂部 紘二 ㊸ 入江 淳 ㊹ 和田加代子 ㊺ 伊藤 道子 ㊻ 高田 康雄 ㊼ 安河内 康雄 ㊽ 河津 憲子 ㊾ 眞藤 瑛子 ㊿ 宮村 瑛子 ㊱ 北本 浩二 ㊲ 山本 恭子 ㊳ 津留 唯光 ㊴ 井上 祐司 ㊵ 関 修治 ㊶ 森 武紀 ㊿ 今林 治美 ㊱ 徳重 和美 ㊲ 石川 一夫 ㊳ 竹森 淳 ㊴ 瓜生 元治 ㊵ 内海 清 ㊶ 柴田正二郎 ㊷ 宅嶋 徳昌 ㊸ 木下 敏子 ㊹ 進藤 京子 ㊺ 仲小 信雄 ㊻ 西村 房巳 ㊼ 西村 保雄 ㊽ 北本 浩二 ㊾ 宮村 瑛子 ㊿ 眞藤 瑛子 ㊱ 河津 憲子 ㊲ 安河内 康雄 ㊳ 高田 康雄 ㊴ 伊藤 道子 ㊵ 田代 忠 ㊶ 和田加代子 ㊷ 入江 淳 ㊸ 坂部 紘二 ㊹ 弓 孝夫 ㊺ 嶋川ヤス子 ㊻ 小西 啓介 ㊼ 堀田 稔 ㊽ 菊地眞佐子 ㊾ 仲尾次 弘 ㊿ 原嶋 國治 ㊱ 秋山 要一 ㊲ 仲尾次 弘 ㊳ 菊地眞佐子 ㊴ 堀 泰之 ㊵ 小西 啓介 ㊶ 嶋川ヤス子 ㊷ 坂部 紘二 ㊸ 入江 淳 ㊹ 和田加代子 ㊺ 伊藤 道子 ㊻ 高田 康雄 ㊼ 安河内 康雄 ㊽ 河津 憲子 ㊾ 眞藤 瑛子 ㊿ 宮村 瑛子 ㊱ 北本 浩二 ㊲ 山本 恭子 ㊳ 津留 唯光 ㊴ 井上 祐司 ㊵ 関 修治 ㊶ 森 武紀 ㊿ 今林 治美 ㊱ 徳重 和美 ㊲ 石川 一夫 ㊳ 竹森 淳 ㊴ 瓜生 元治 ㊵ 内海 清 ㊶ 柴田正二郎 ㊷ 宅嶋 徳昌 ㊸ 木下 敏子 ㊹ 進藤 京子 ㊺ 仲小 信雄 ㊻ 西村 房巳 ㊼ 西村 保雄 ㊽ 北本 浩二 ㊾ 宮村 瑛子 ㊿ 眞藤 瑛子 ㊱ 河津 憲子 ㊲ 安河内 康雄 ㊳ 高田 康雄 ㊴ 伊藤 道子 ㊵ 田代 忠 ㊶ 和田加代子 ㊷ 入江 淳 ㊸ 坂部 紘二 ㊹ 弓 孝夫 ㊺ 嶋川ヤス子 ㊻ 小西 啓介 ㊼ 堀田 稔 ㊽ 菊地眞佐子 ㊾ 仲尾次 弘 ㊿ 原嶋 國治 ㊱ 秋山 要一 ㊲ 仲尾次 弘 ㊳ 菊地眞佐子 ㊴ 堀 泰之 ㊵ 小西 啓介 ㊶ 嶋川ヤス子 ㊷ 坂部 紘二 ㊸ 入江 淳 ㊹ 和田加代子 ㊺ 伊藤 道子 ㊻ 高田 康雄 ㊼ 安河内 康雄 ㊽ 河津 憲子 ㊾ 眞藤 瑛子 ㊿ 宮村 瑛子 ㊱ 北本 浩二 ㊲ 山本 恭子 ㊳ 津留 唯光 ㊴ 井上 祐司 ㊵ 関 修治 ㊶ 森



元気印の企業紹介 GENKI COMPANY vol.3

日本の伝統を守りつづける金継ぎ師

茶州会 「金継ぎ教室」

宮崎 芳昌さん(63回生)



「茶の湯」の隆盛とともにその技術は磨かれ、今日、漆を用いた本格的な技術を有する「金継ぎ」の職人は数少ないそうです。初めは古美術の商いが中心でしたが、金継ぎで補修された陶磁器を見るにつけ、あるとき「自分でも金継ぎをやってみよう」と一念発起。

第3回の「元気印の会社」は職人の匠の技で、テレビや雑誌に取り上げられ活躍されています。茶州会代表の宮崎芳昌氏(63回生)です。宮崎氏の母校時代(昭和37年〜40年)は、小学5年の時から始めた柔道部に入り、昭和39年には福岡県代表として新潟国体に出場し、見事高校団体に優勝する等輝かしい成績を残しています。大学卒業後、骨重を扱う仕事を始められ、古美術にふれる日々の中で「金継ぎ」を独学で修得され、1998年「茶州会金継ぎ教室」を開き、生徒の指導、技術者養成に当たっています。「金継ぎ」とは割れたり、欠けたりした陶磁器を元の風合いを活かしながら、修理、修復する技術をいい、室町時代に端を発します。



しかし、教えてくれる金継ぎ師は皆無で、持ち前の器用さと、柔道で鍛えた粘りと努力で技を覚えたそうです。6年前から「高価な陶磁器でなくても、その人にとって大切な器やお皿などを直してあげたい」また、独学で得たこの技術を「日本の伝統技術である金継ぎを一般の人にも広めたい」と考え、金継ぎ教室を開きました。

今では、福岡天神で始めた教室が、北九州、太宰府、久留米、大分と広がり、教える子も百人を上回るそうです。宮崎氏は「教えることは自分を高めることにつながり、密度の濃い貴重な時間を過ごしています。現在はこれまでの人生の集大成だと強く感じます」と語ってくれました。ごちらかといえは閉ざされていく傾向にありがちな職人の世界、彼のように修得した技術をオープンにし、人に教え広めることは、伝統技術の裾野を広げ、守り育てる上でも大切なことだと感じました。会員皆様のなかで興味がある方は一度訪れてみてはいかがでしょうか。

(川瀧 哲雄 記)



茶州会本部

福岡市中央区渡辺通5-25-15チサン天神401
TEL092-736-3711 FAX092-736-3713
URL <http://www.reishu.jp/>

中牟田喜一郎氏(元福商会理事長)の 「永年のご功績に感謝する会」 のご案内

- と き 平成17年10月23日(日) 午後1時~3時
- と ころ 八 仙 閣(福岡市博多区博多駅東2丁目7-7) TEL 092-411-4141
- 会 費 5,000円

* 会員の皆様の多数のご参加をお待ちしております。*

お問い合わせ

社団法人 福商会 TEL 092-711-9890



NETWORK SYSTEM REMIX Co.,Ltd
TEL:092-452-7055 FAX:092-452-7071

株式会社 エヌ・エス・エックス

コンピュータ・ネットワークシステム構築
ホームページ企画・制作・コンサルティング
システム開発・サーバ・レンタルサービス
インターネット・WEBカメラ

代表取締役 跡部 宗教 (79回生)
ATOBE MUNENORI

福岡市博多区博多駅前3丁目29-21 貝真ビル2F
TEL:092-452-7055 FAX:092-452-7071

Total Support Of Computing

ビューティ・ビジネスの未来を創る。
株式会社 ダリヤ

代表取締役会長
高木 不二男 (60回生)
TAKAKI FUJIO

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南4-3-25
TEL 092-472-3035 FAX 092-472-2347
E-mail:f.takaki@net.email.ne.jp
http://www.mmj.or.jp/dariya

あらゆる印刷は！

慶和印刷株式会社

代表取締役 前田 福一 (55回生)

福岡市博多区東那珂1丁目15-1
電話(092)474-4881番(代表)

「うまい！」うれしいお礼のことば
きつと印象に残ります……………

味のめんたい 福太郎

代表取締役 山口 毅 (52回生)

■配送センター・工場
〒815-0001 福岡市南区五十川1-1-1 電話(092)475-7777

中華料理
和食
海鮮料理

の八仙閣

相談役 増田 稔 (59回生)

福岡市博多区博多駅東2丁目7-7
電話(092)411-4141番

総合建設業一級建築士事務所

株式会社 五成建業

会長 安河内 馨 (46回生)

東京都世田谷区上馬4の13の19
TEL 03(3418)8151(代)
FAX 03(3424)9418

株式会社 堀江本店

会長 堀江 武 (52回生)
代表取締役社長 堀江 徹 (75回生)

〒816-0063 福岡市博多区金の隈3丁目14-41
TEL(092)503-0121(代)
FAX(092)504-1219

広告代理店

株式会社 春潮社

取締役社長 古川 淳二 (63回生)

福岡市博多区千代4-29-12
電話(代表)641-1031番

線香・ローソク・お香・広告マッチ

株式会社 中島晴薫堂

代表取締役 中島 勝敏 (55回生)

〒812-0044
福岡市博多区千代4-8-19 TEL092-651-0441 FAX092-651-0449
〒854-0055
長崎営業所 諫早市栗面町288番地305号 TEL-FAX0957-21-0675

福岡テープ株式会社

工業用テープ
包装テープ
梱包機・梱包資材
カッティングテープ
カット絵文字制作

代表取締役 糸永 清二 (55回生)

福岡市博多区博多駅南2-16-10
TEL 092-411-3929(代)

imai PRINTING

代表取締役社長 今井 勝彦 (57回生)

今井印刷株式会社

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1丁目2番18号
TEL 092-781-5492 FAX 092-781-5613

躍進する { 総合建設業・木材業
柏屋グループ } 不動産業

一級建築士事務所

柏屋殖産株式会社

代表取締役会長 篠原 隆義 (54回生)

本社 柏屋郡柏屋町大字仲原2525
電話(代表)621-1331番

クラブ
萌

長谷 州身子 (81回生)

〒810-0801 福岡市博多区中洲2丁目3-1 中洲Fビル3F
TEL092(262)5577

紙与産業株式会社
紙与不動産株式会社

代表取締役会長 渡邊 與三郎 (39回生)

福岡市中央区天神1丁目12の14号
電話(092)721-4531番

環境にやさしい製品作りをめざしています

印刷の
ご用命は **nip 株式会社 ナガヨマ**

ISO14001認証取得

代表取締役 永島 光雄 (55回卒)
笠木 雄二 (65回卒)
本村 智彦 (82回卒)

福岡市博多区豊1丁目9-18TEL482 7751(代) FAX482 7734

伝えたい・残したい物があるとき
一冊の本にしてみませんか!!
お気軽にお電話下さい。

正光印刷株式会社

藤村 みつひ (53回)

営業所/福岡県中央区赤坂1丁目3番7号
PHONE:(092)741-3266

大化工業株式会社

代表取締役社長 石村 泰久 (56回生)

〒815-0071 福岡市南区平和2-25-11
TEL 092-533-4207
FAX 092-533-4208

一運送・引越・梱包一

UratsukaPRO.

代表 浦塚 健二 (89回生)

本社 〒816-0862 福岡県春日市弥生4丁目61-1
TEL/092-584-8057 FAX/092-584-8079

☎ 0120-100-822
URL www.urapro.jp/ e-mail info@urapro.jp

営業所 福岡営業所/熊本営業所/大分営業所

藤田温泉 露店風呂

ホテル **楠水閣** 湯乃禅の里

WAKITA SPA HOTEL NANSUIKAKU YU NO ZEN

〒822-0133
福岡県鞍手郡若宮町脇田
TEL 0949-54-0123(代)/FAX 0949-54-0198

野口嘉孝 (73回生)

博多人形・博多織・久留米絨

増屋

取締役相談役 田中 寛 (40回生)
取締役 高崎 隆 (43回生)

川端本店/博多区上川端商店街 TEL092(281)0083
支店/天神地下街・博多駅名店街店・
モスバーガー・薬院店・赤坂店

～玄海の磯の香をそのまゝ直送～

魚村 壽司魚村

福岡市中央区大名1-1-45 天神西通り 大名本店
天神西通り 魚村ビル

福岡市中央区天神2-4-19 天神西通り 第8ラインビルF

☎ (092) 781-7388 ☎ (092) 711-1182

代表取締役 日野 孝治 (77回生)

順不同

男子バスケットボール部 県大会で準優勝

6月6日、母校バスケットボール部の古浦努キャプテンと山田耕史監督、芝恭介先生が来館されました。



5月22日(日)、大牟田市民体育館で行われた、平成17年度福岡県高等学校バスケットボール大会兼九州高等学校体育大会福岡県予選で準優勝と健闘し、その報告にこられたものです。

なお、6月18日(土)～19日(日)に唐津市文化体育館で行われた第58回九州高等学校バスケットボール競技大会に出場し、結果は第3位と健闘しました。会員皆様の応援ありがとうございました。

母校の生徒全国大会へ出場



7月4日、8月3日に相次いで、母校の生徒が芝特活指導部長、顧問の先生方と来館し、7月末から8月にかけて開かれる全国大会に出場するため挨拶に来られました。生徒の皆さんは「『福翔魂』でベストを尽くしてがんばります」と力強く語ってくれました。

■全国高等学校総合体育大会

走り高跳び/谷 美枝(1年)

水泳競技/谷口実雅子(1年) 50m自由形、400mメドレーリレー

下大迫美恵(2年) 400mメドレーリレー

一ノ宮花菜(2年) 400mメドレーリレー

高木 香織(3年) 400mメドレーリレー

■全国高等学校総合文化祭書道部門

林 麻希(2年)

※なお、出場結果は残念ながら上位入賞にはなりませんでした。

奨学育英基金に寄付

川村麻喜子様(89回生)より奨学生への育英資金としてご寄付をいただきました。今年は母校への奨学生の給費対象者は25人で、川村さんから3年間の奨学生資金のご寄付により、1人増加して(計26人)運用いたします

また、6月4日に箱崎福商会より奨学育英資金にと金一封をいただきました。

心あたたまるご厚情に深く感謝申し上げます。

寄稿作品 紹介

松田俊美氏(43回生)より「書」の作品を投稿していただきました。ありがとうございます。

記事募集

会員の皆様からの寄稿(随想・俳句・写真等)をお待ちしております。

飛翔

福商会館2階ホール、ロビーの賃貸について

●2階ホールを下記金額で外部にも貸出しております。

| | 午前 | 午後 | 夜間 |
|----|------------|-------------|-------------|
| | 9:00~12:00 | 13:00~17:00 | 18:00~21:00 |
| 全日 | 12,600円 | 16,800円 | 15,750円 |
| | 午前~午後 | 午後~夜間 | 一日中 |
| | 9:00~17:00 | 13:00~21:00 | 9:00~21:00 |
| 全日 | 29,400円 | 29,400円 | 31,500円 |

※土日・祭日の使用時間は9:00~17:00です。

■2階ロビーは原則的に福商会員のみでの無料貸出になります。但し、午前9時より午後5時迄で、土・日・祭日は閉館しております。

お問い合わせ

TEL/092-711-9890 FAX/092-711-9266

編集後記

* 皆様のお陰で全国合同同窓大会も盛会裡に終わりました。参加者も800名を越す大変な賑わい

ありました。当番幹事の80回生の皆さん、本当にご苦労さんでした。大会後のご苦労さん会に顔を出し、労をねぎらいましたが、皆さんの顔は達成感に満ち溢れ、中には感激の余り泣き出す人も沢山おられました。こうした一大イベントをやり遂げた満足感と一体感こそが大切で、彼らにとって貴重な人生経験になったことと思います。

* 大会に先立って5月28日に八仙閣で代議員総会が開催されました。新しい定款に則り初めての総会でした。前年度の事業報告、決算そして今年度の事業計画、予算、役員改選などについて約1時間半にわたり熱心に討議されました。活発に建設的なご意見も出され新年度に向け新たなスタートを致しました。

* 事務局は私を始め川瀧事務長、市村さん、大野さんの4名で頑張っておりますが、何しろ全員が一年生です。でも全員がチームワークよく力を合わせて何とか一年を乗り切ることができました。何事も初めての事ばかりで試行錯誤しながらの一年でしたが、二年目の今期はもっと効率よく事務処理や対応が出来るものと思

います。少数精鋭主義で頑張ります。

(前田)

* 6月12日の全国合同同窓大会も盛会に終わることができ、80回生の当番幹事の皆さん本当にご苦労様でした。1年間に亘って、毎週土曜日に会館へ集まり、夜遅くまでの打合せ大変だったと思います。しかし、卒業後初めて顔合わせする人もいる中で、次第に結束力が高まったのではないのでしょうか。これは同窓だからこそ20数年ぶりに会っても、直ぐに打ち解け、青春時代が甦り和気あいあいと出来るのではないかと思います。

来年は81回生の皆さんが当番幹事になりますが、このよき伝統を引き継いでいって貰いたいと思います。

* 母校の体育祭に行きましたが、F・C・Sの3ブロックに分かれての対抗戦は昔も今も変わらず、当時を思い起こしながらの観戦でした。部活対抗リレー、3ブロックリレー、応援合戦など熱戦が繰り広げられ、優勝チームのキャプテンが泣きじゃくる姿を見ると、心が洗われ、清々しい一日でした。会員の皆様もたまには学校訪問も良いものですよ。

(川瀧)